

D・H

ダンナニヒミツ

～石原さゆみ

32歳の場合～

夏の浴衣の思惑

義父から告げられる言葉

さゆみは義父の言葉を信じ

夫に気づかれぬ様

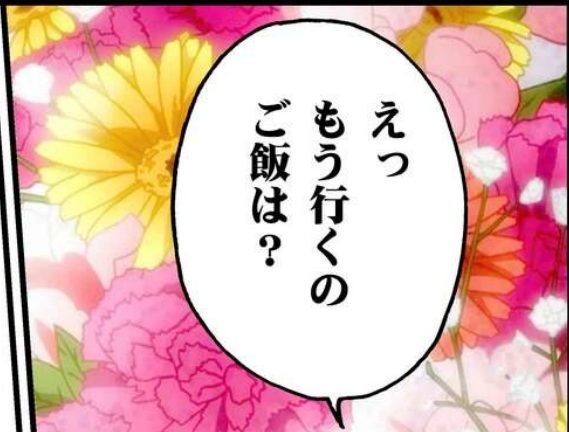
悶え喘ぐ....

果たして義父の言葉は真実か!?



そうなの

いいよ 校了前で
作家さんの所によつて
原稿もらつてかなきゃ
ならないし・・・



えっ
もう行くの
ご飯は？



それより
おやじは
まだ寝てるの
一人相手させて悪いな
一週間もすれば
帰ると思うから



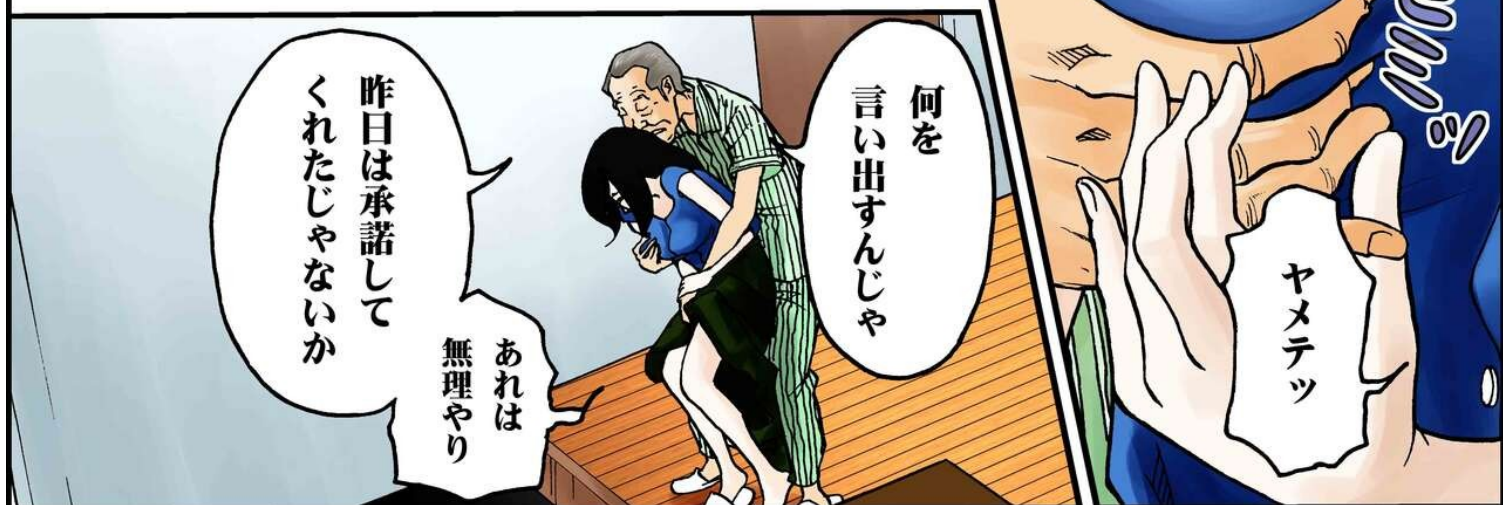
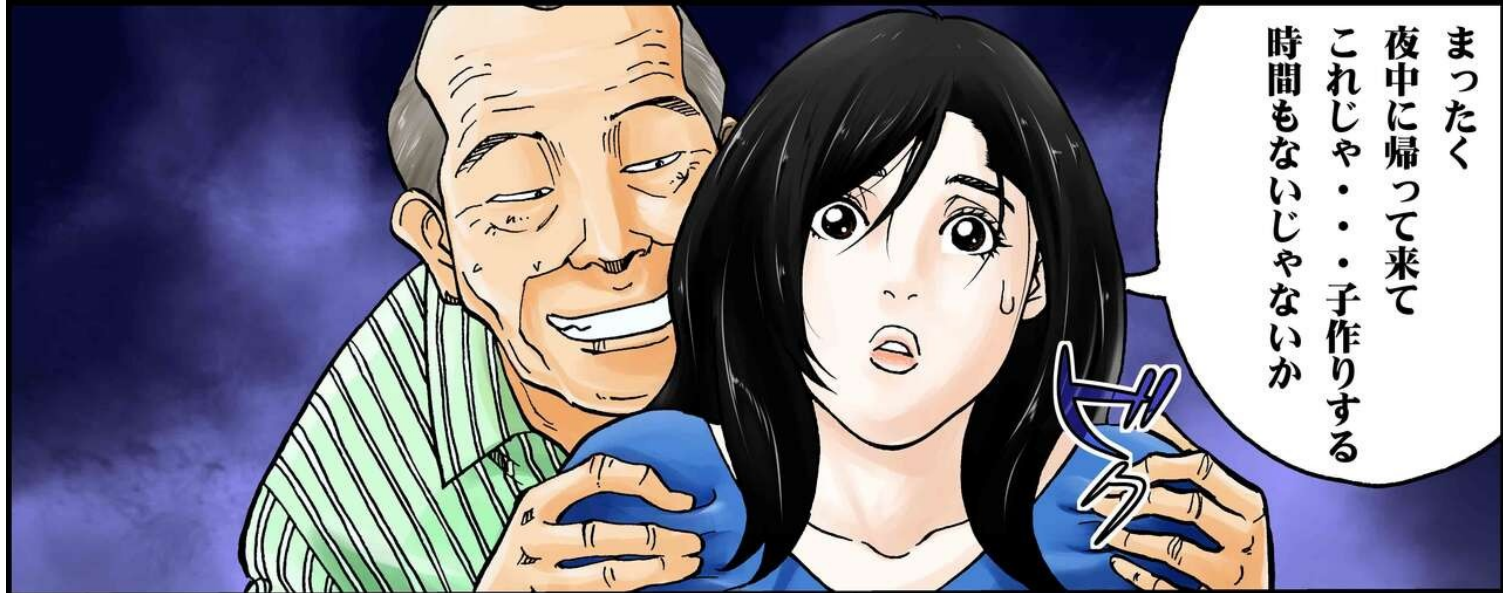
後・・・子供のこと
言つてくると思うけど
気にすることないから

わかつてる



じゃ

バタ





さゆみさん
今日は
他でもない
あんたにお願いがあつて
来たんじゃ

えっ
どうか
なさったん
ですか？

もしかして
お義母の
足の具合がよほど
悪いとか・・・

いや
実は、ばあさんの入院
足じゃのうて
痛かもしれないのじゃ

えっ

そこで
さゆみさんに頼みたいんだよ
あんたら結婚して
もう四年たつ・・・
なんとかばあさんに
孫の顔みせて
やれんじやろうかと思つてな

お義父様
孝一さんに
この事はっ

いつとらん
あいつは母親っ子だし
知ればショックも
大きかろう

それは
ご期待されるのは
当然だと思えます
ただ・・・
孝一さんとは
授かりものですから
自然にまかせようと

そんなこと
言ってる場合じゃないから
こうして頼みに
来たんじゃないか

おっ
お義父様

これまでワシは散々
外で女を孕ませたり
ばあさんには迷惑を
かけてきた
だからこれは償いなんじゃ

わかってくれ
さゆみさん
必ず子供の出来やすい
身体にしてやるからの

えっ
お義父さっ

こうみえても
わかつとる
息子が女に淡泊な事も
・・・





はずかしがらんでも
男からすりゃ
貴重なしろもんじゃ



おや
さゆみさん
あんたパイパンかね



うむうむ
なんと可愛らしい
まるで赤子のような
オマンマンじゃ

そんなっ
見ないでください
お義父様あつ

しかも
こんな鮮やかな桜色して
孝一のヤツまるで
使い込んでないとは
宝の持ち腐れってやつだろ
まったく けしからん



おやつ
もうこんなになつとる
じゃないか

ダメ~~~~~
お義父様お願い

あつ
あああ

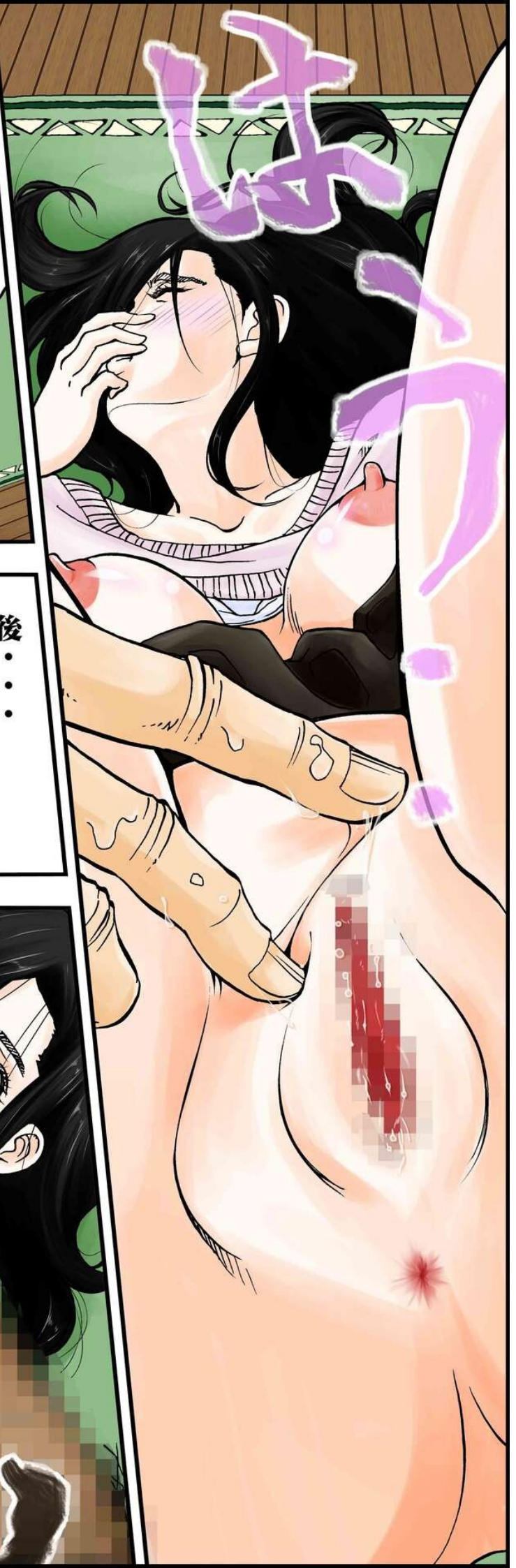
そんなこと

さゆみさんも
やはり欲求不満は
かくしきれんの



遠慮はいらん
気をやってみませい

おっお義父様
それ以上っ……



思った以上に
いい身体をしとる
反応も十分じゃしな

すぐに
孕めるように
なるわい

後・・・
申し訳ないがワシも
このままじゃ
さすがにコイツが
つらくての

それ
わかるじやろ？



せめて口で
処理してくれんか
この歳で自分で
こすつても
出るもんも出んから

これくらいの
お返しはいいじゃろ
さゆみさん

いやっ
そんな

ほらその
ポツテリ
くちびるを
開けて

こうでも
せんと
終わらんぞ

うぐうう

ず

どうした
なににとる
ただ唾えてちゃ
始まらんじゃろ

ここから
教えねばならんか
なあさゆみさん
ふふふ...

んっ

んっんっ



ピュッ

おお



それに
このポツテリした
唇のすいつきは
たまらん

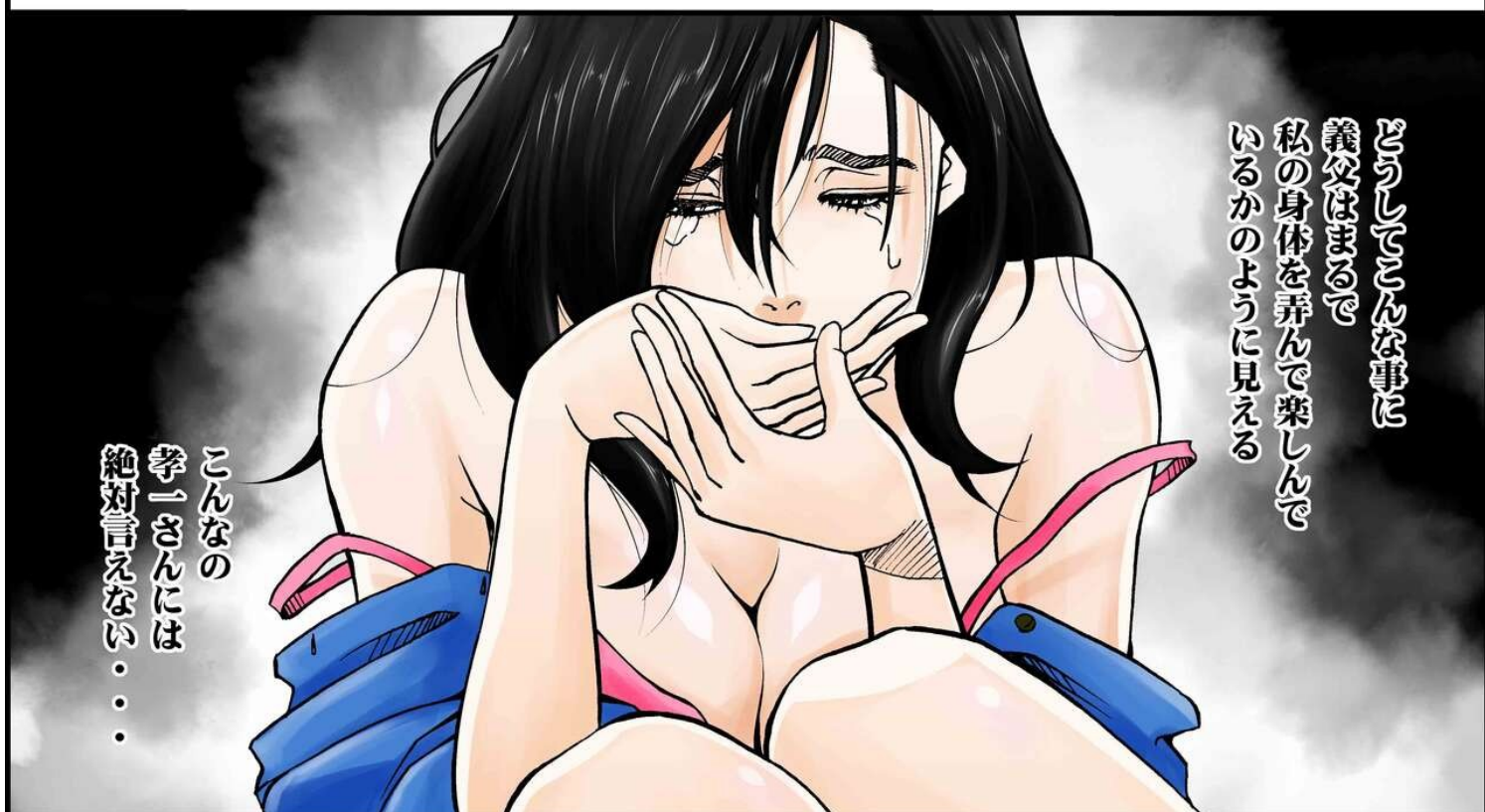
孝一が
羨ましいわい



いい子じゃ
昨日と比べたら
格段の差だよさゆみさん

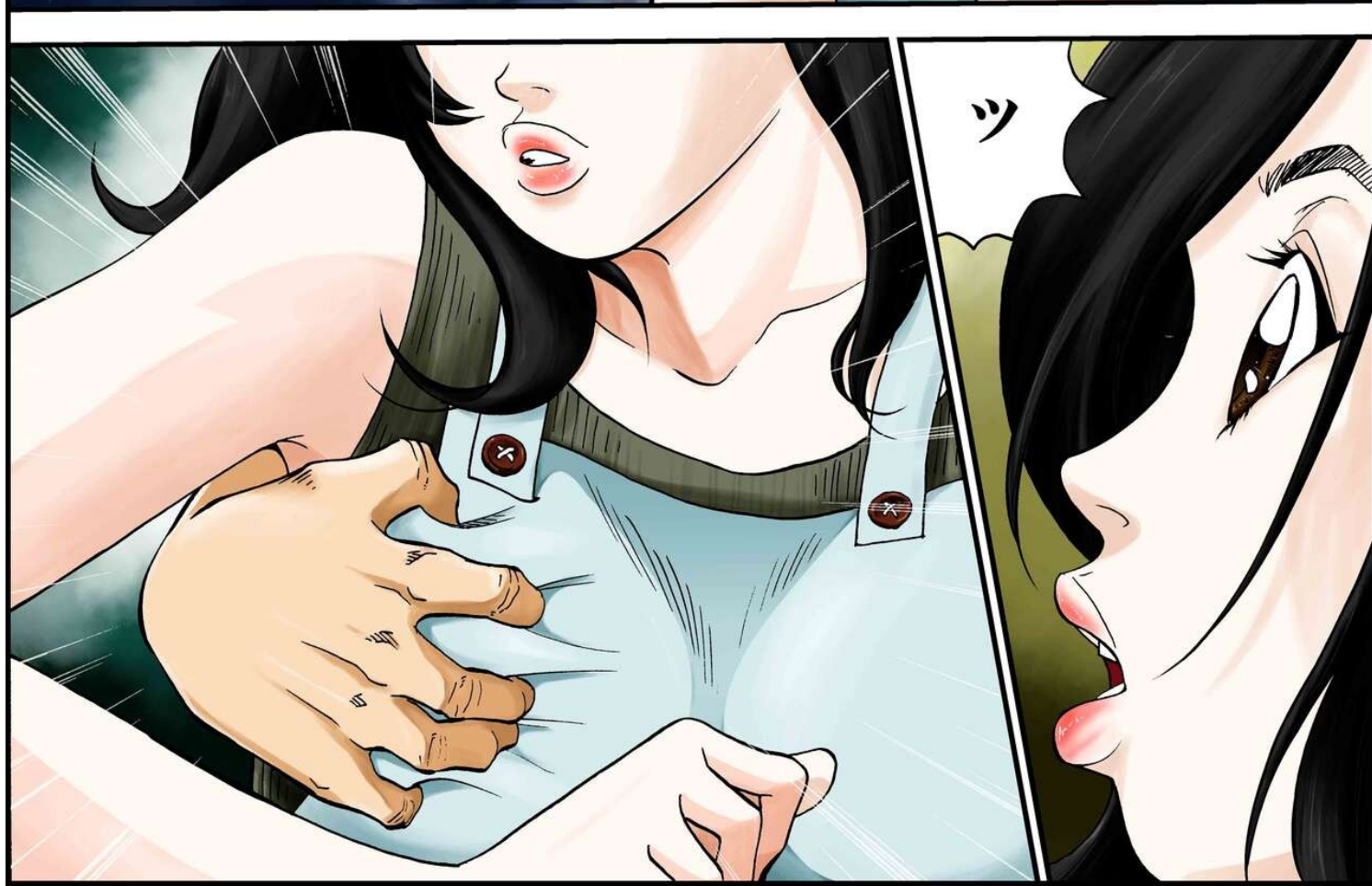
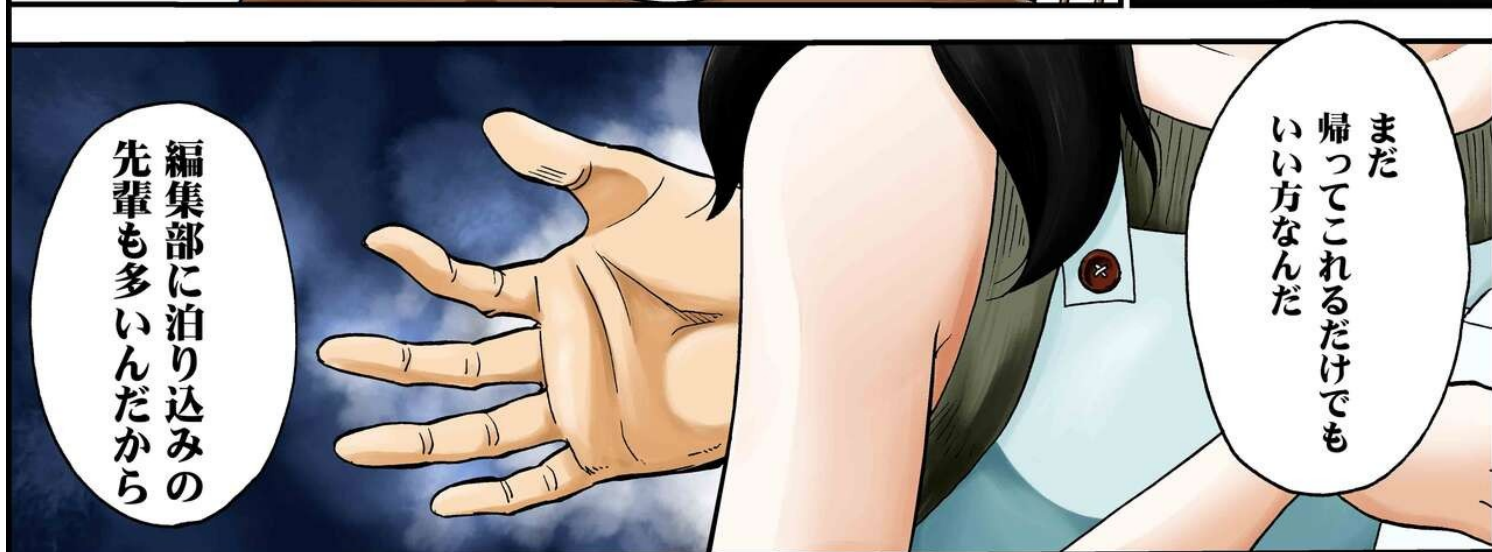
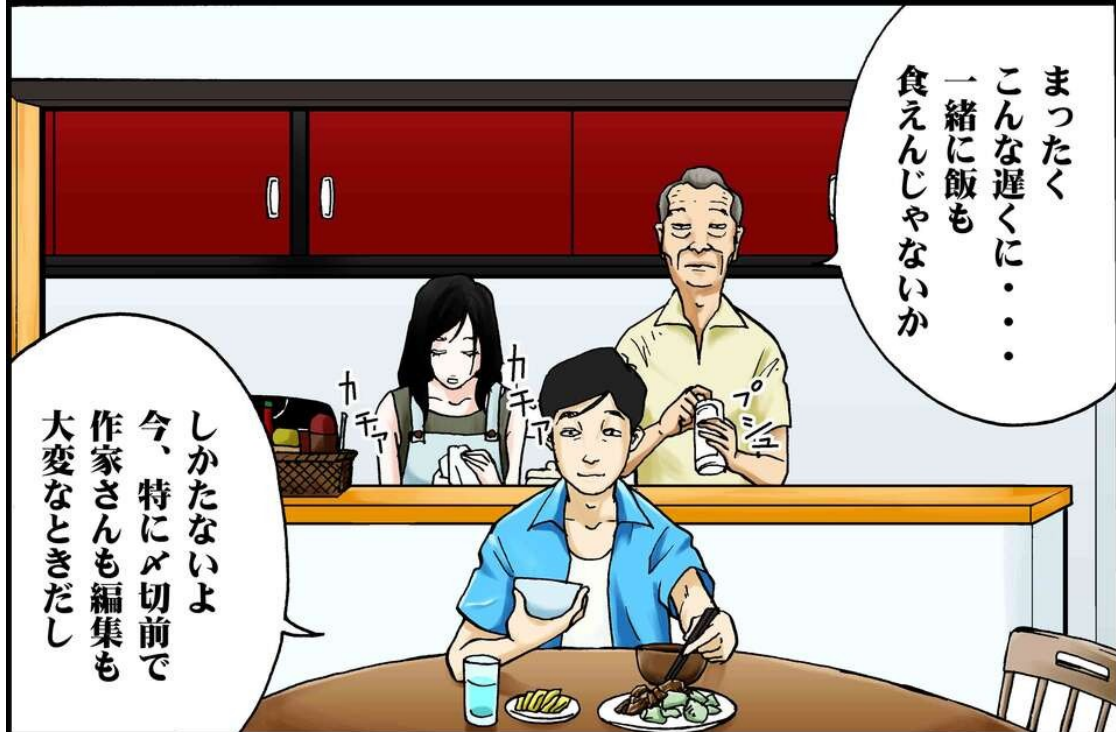


さてと
朝ごはん
お願いしますよ



どうしてこんな事に
義父はまるで
私の身体を弄んで楽しんで
いるかのように見える

こんなの
孝一さんには
絶対言えない・・・



それより
父さんも
ビール飲み過ぎだろ

バカたれ
ばあさんがいない
時くらい
好きに飲ませろ

お前も
酒でも食らって
さゆみさんを
かまってるらんか

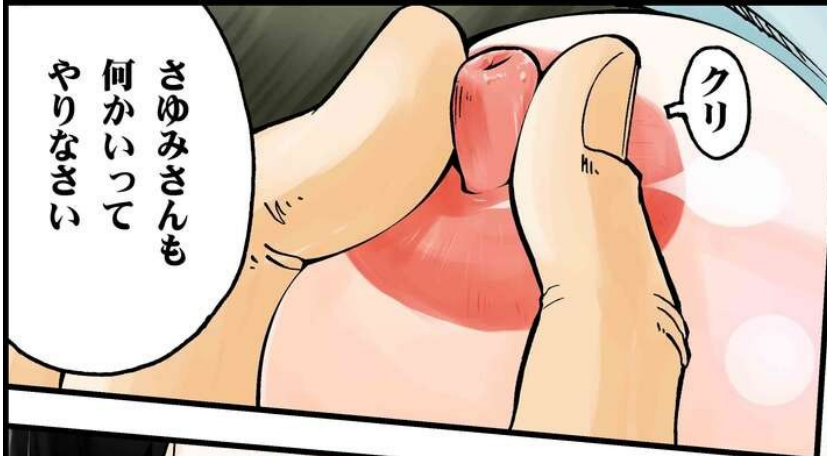
そんなんじやから
子供がつくれん
のじゃよ

なんでも
そっちの話にもつてくなよ
そうゆうのがプレッシャーに
なるんだよ
僕らは自然の
流れにまかせてるって
いつてるだろ

うっ...



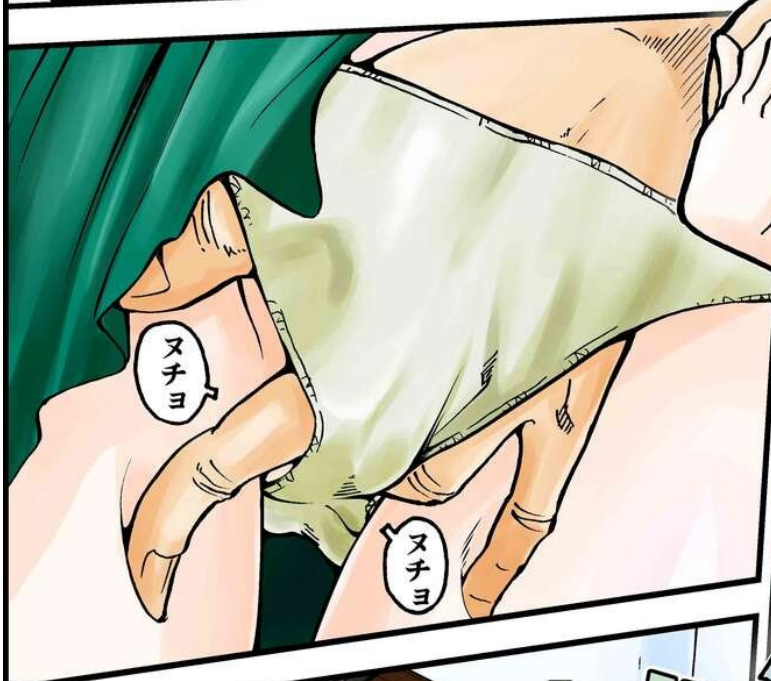
悠長なこと
言いをつて...



クリ



わっ私は...



ヌチヨ

ヌチヨ



ガタ

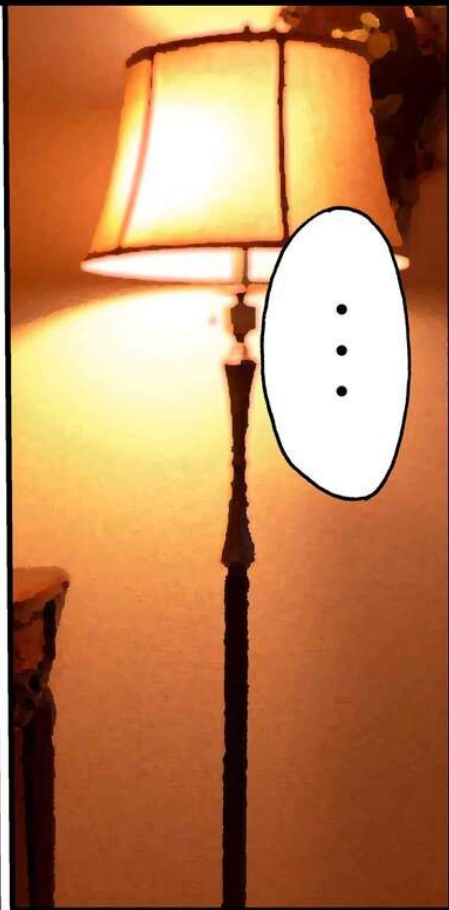
ご馳走様

ガタ
カ





あのね
今日・・・
排卵日なの



...



おやじに
何か言われたんだろ
あせらなくていいよ
それに
同じ屋根の下にいると
思うと
そんな気になれないし
・・・



そっだね
ゴメンネ

謝ることなんかじゃ
ないだろ・・・
今日は寝よ

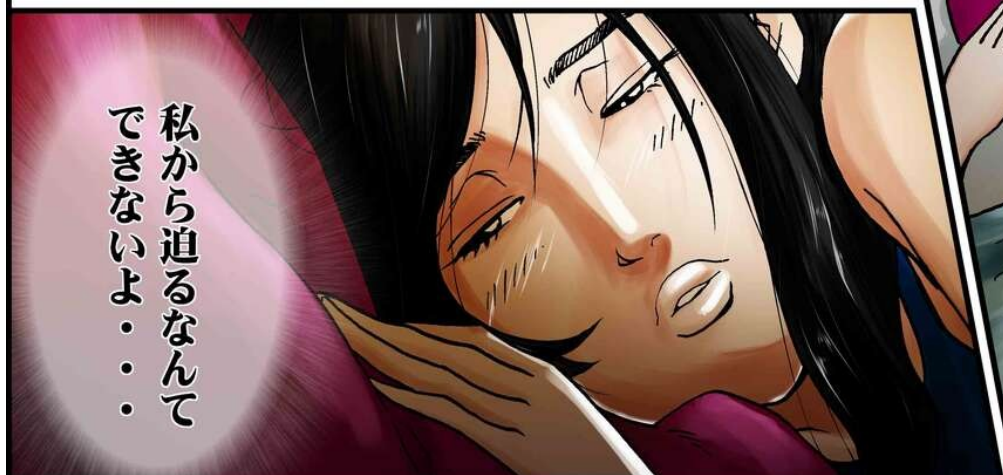
うん



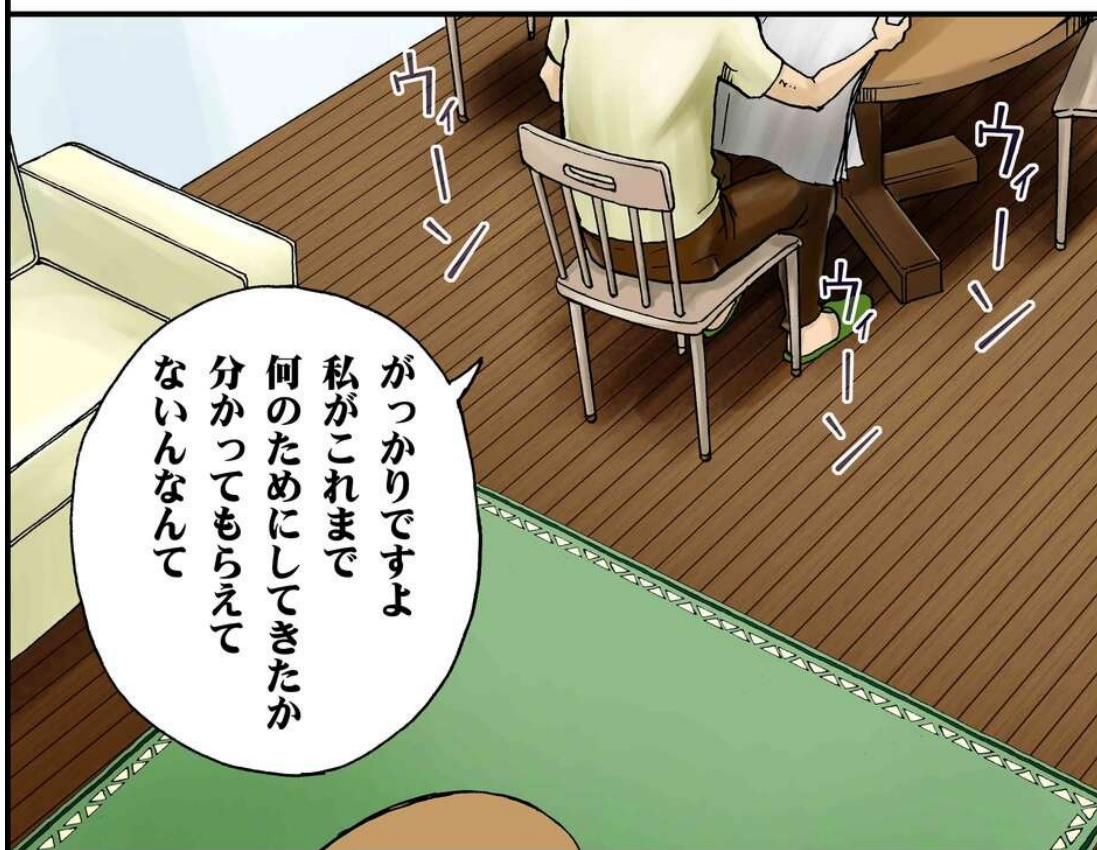
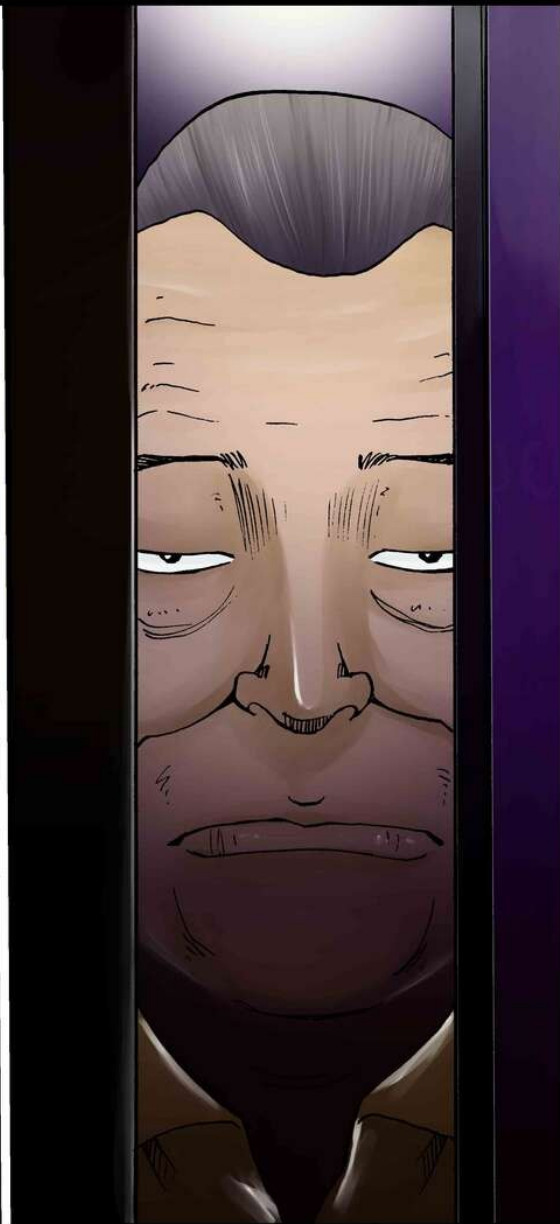
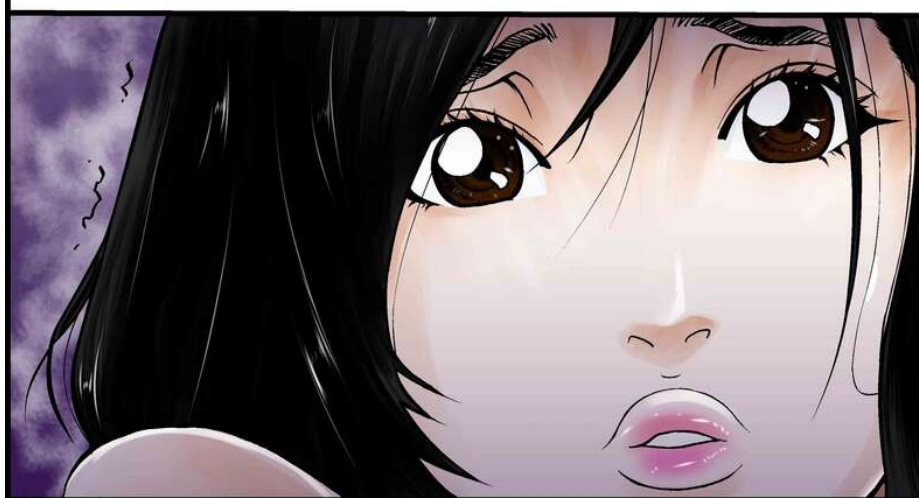
どうしたら
いいんだろう
・・・

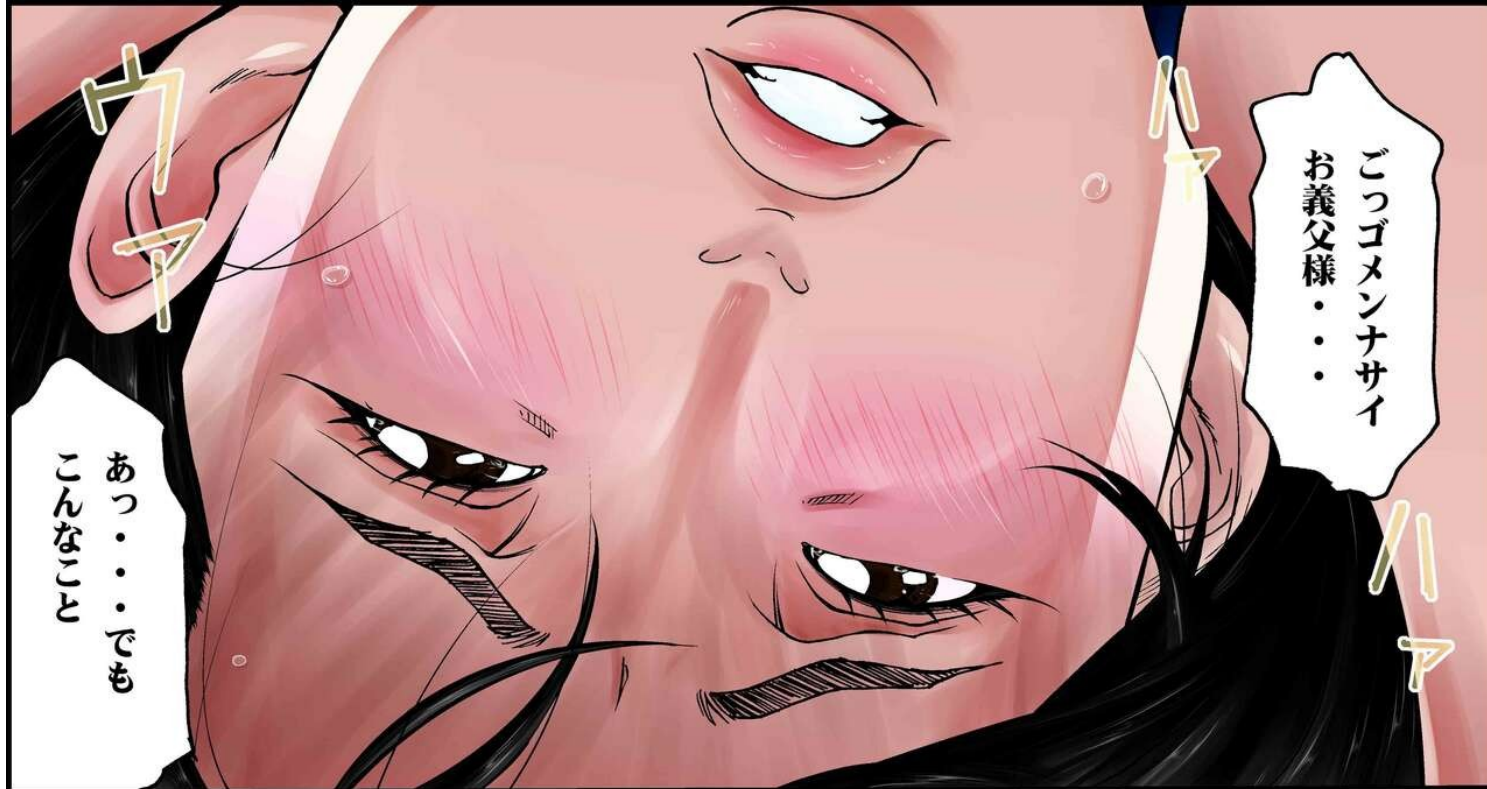


おやすみなさい



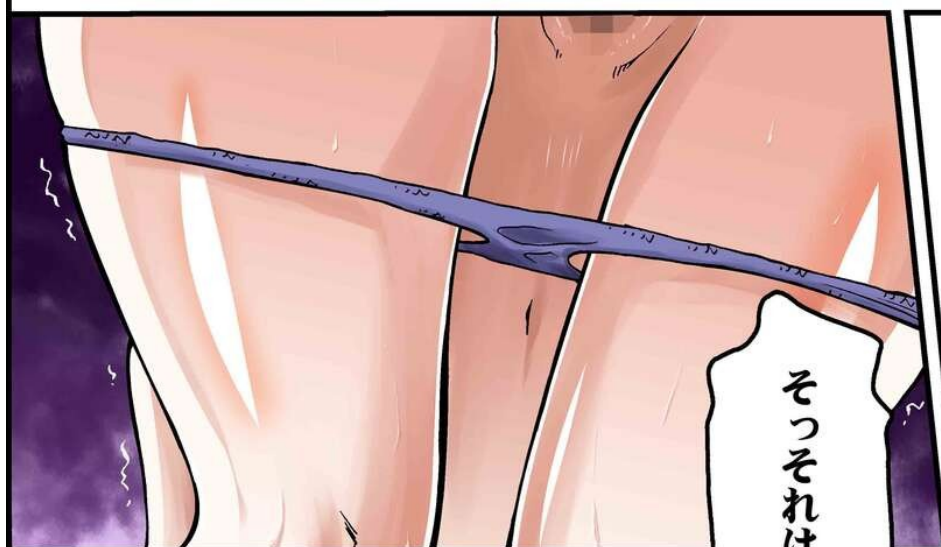
私から迫るなんて
できないよ・・・





ごつゴメンナサイ
お義父様・・・

あつ・・・でも
こんなこと



そつそれは・・・



あつああ
お義父様あ



私だつて
こんな事したくないですよ
ただ さゆみさんは
覚悟が足りないんじゃないのかね







すみません
でっでも明日なら
孝一さん・・・も

明日
何かあるん
ですか？



ほう
それはそれは
盛り上がりますね

ああ、



浴衣でも着て
挑発してやれば...



んあ



花火大会なっ
なんです・・・

二人で
前からの約束で
絶対はやく帰って

そらっ
もつと奥ツ子宮で
受け止めろっ

にザッ

ウイン
ウイン

こっ怖い・・・
身体の中に別の生き物が

無理です
もうヤメテえ

めめめ

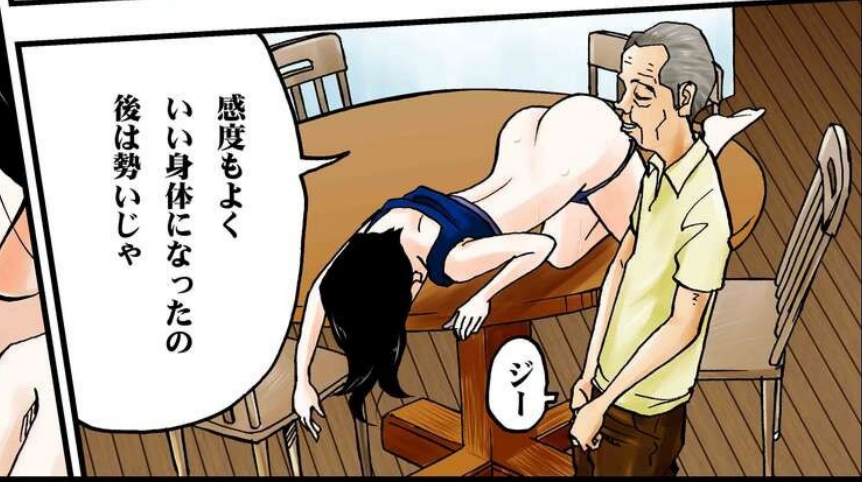
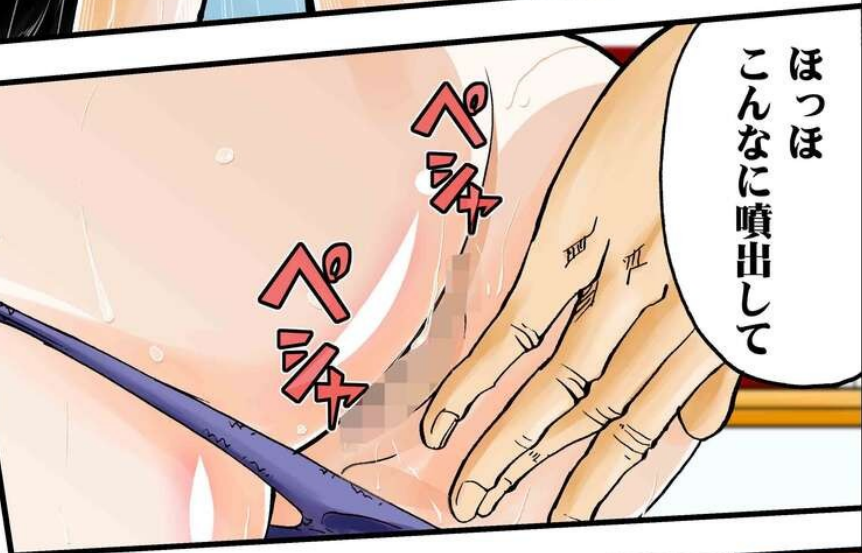
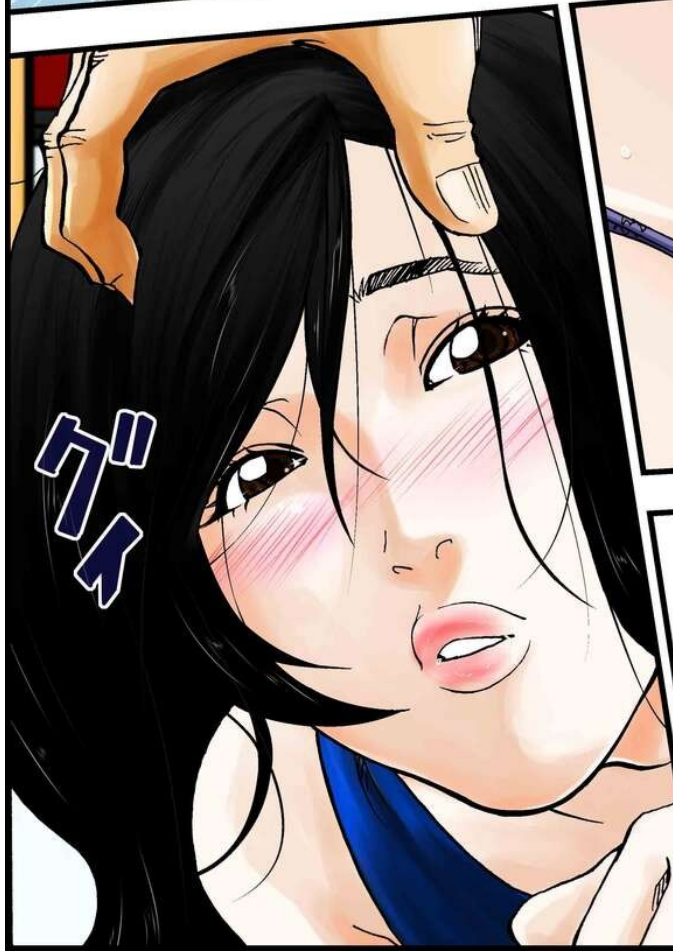
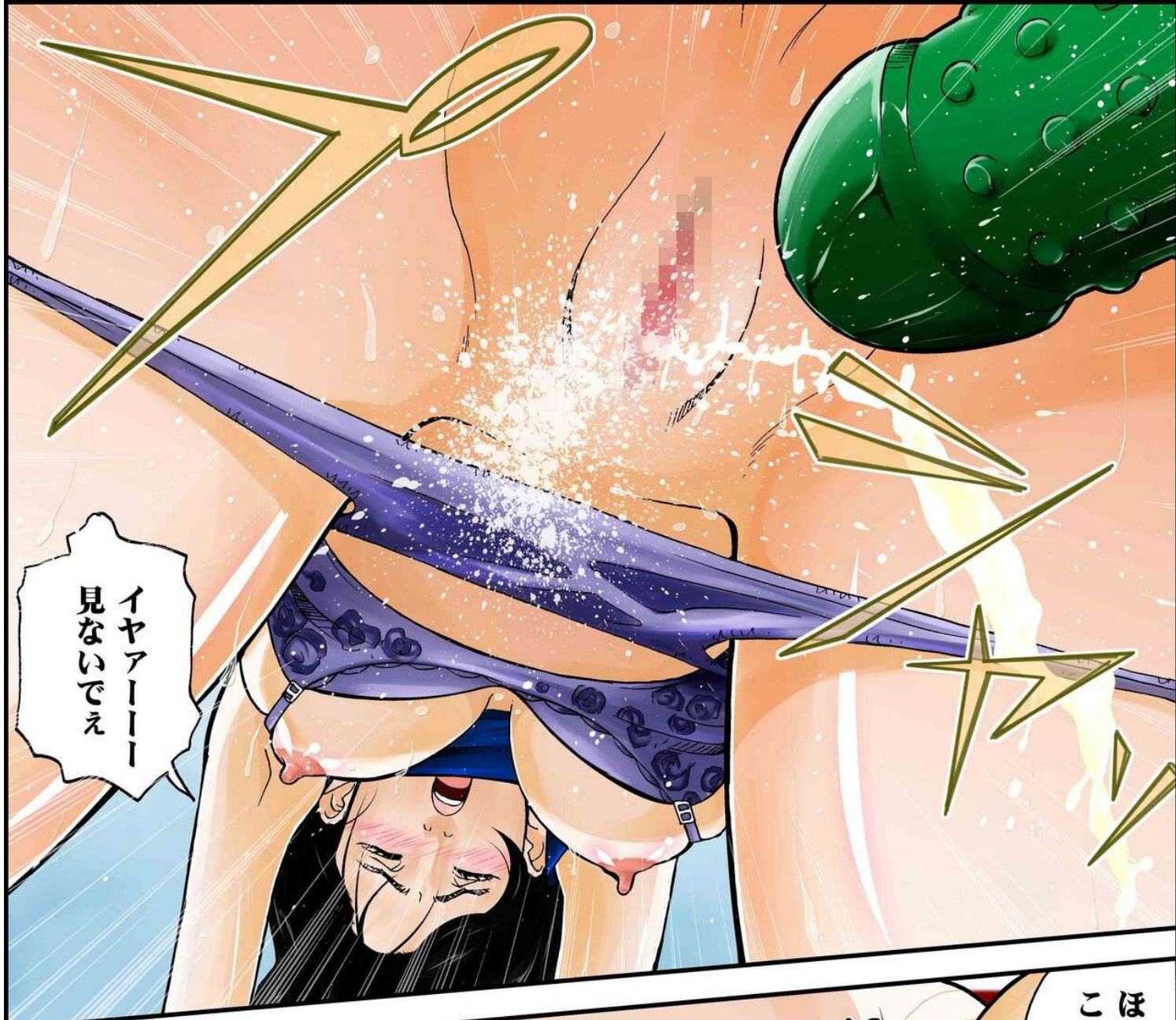
そんなはずない
さゆみさんのマンコ
喜んでるように
みえるぞ

どれ
これならどうじゃ

スリキ

アシギッ

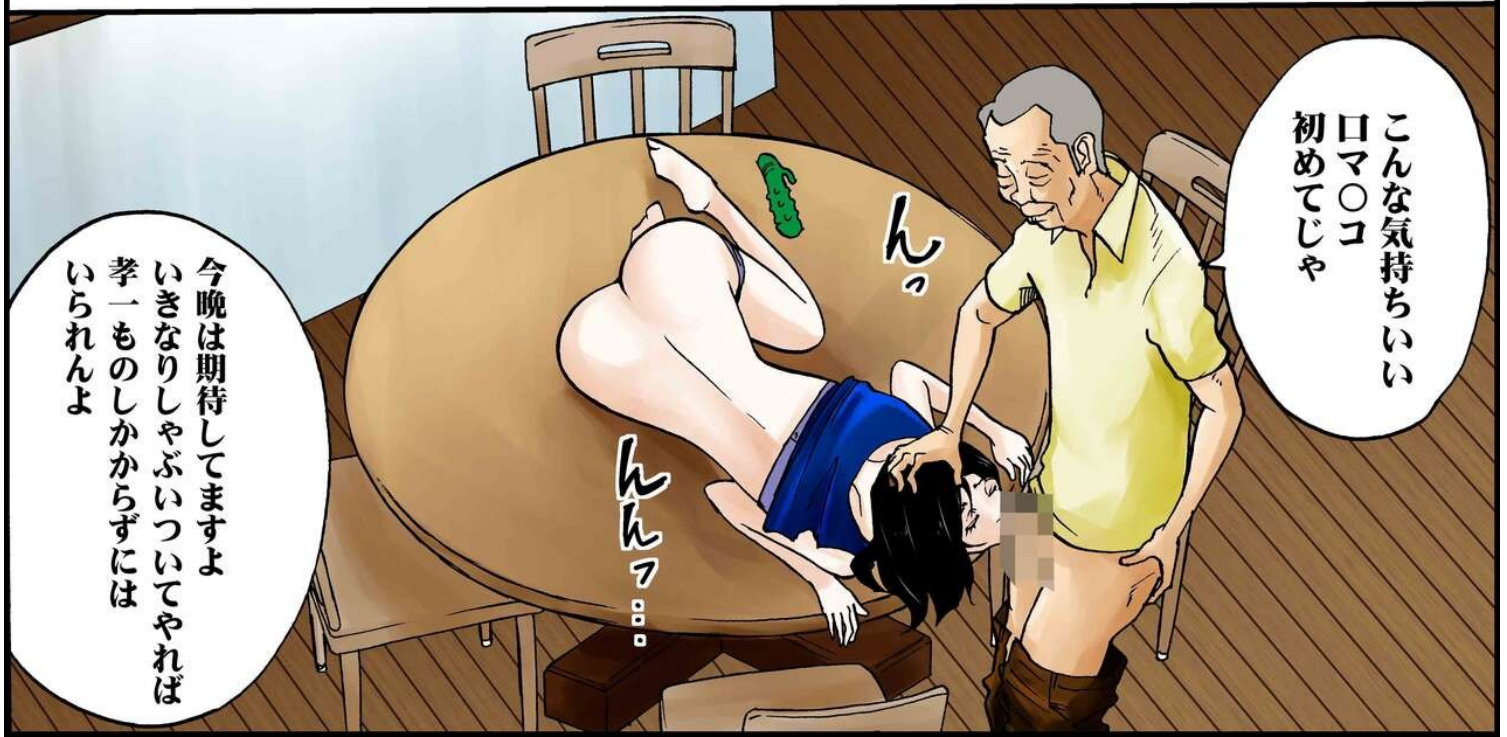
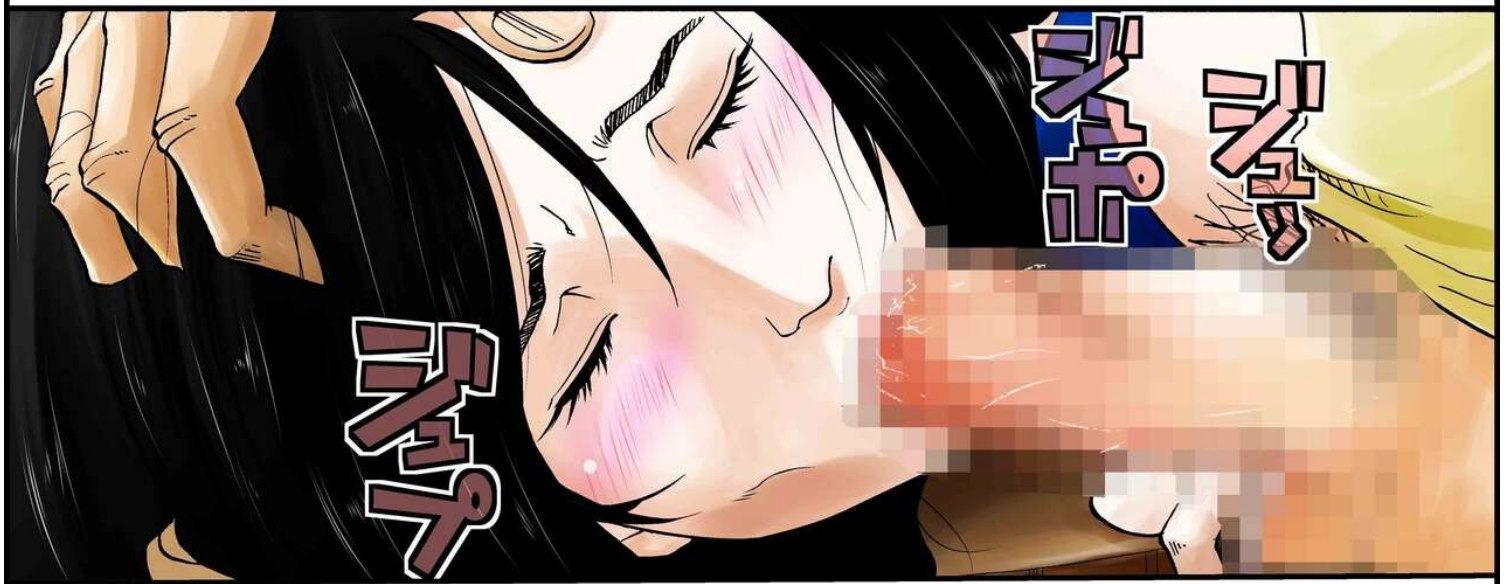
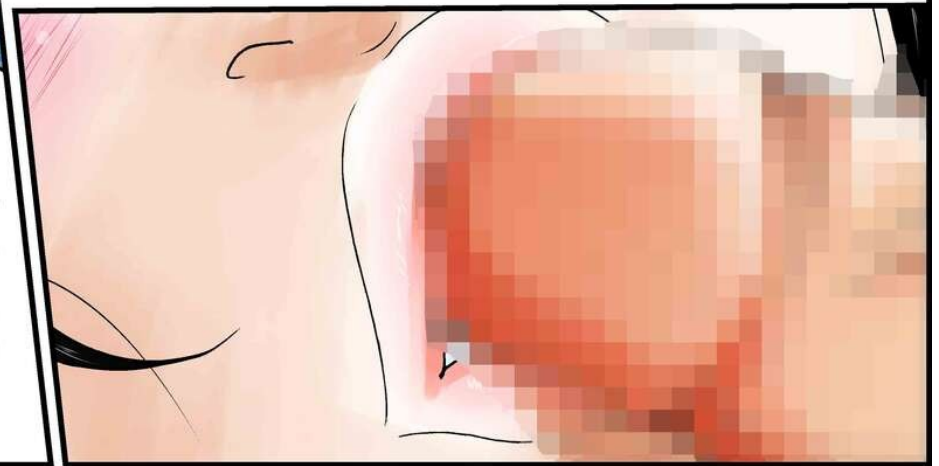
あっあっ
動かさないでー
何かでっでちゃっ・・・



感度もよく
いい身体になったの
後は勢いじゃ



さゆみさんの
ポツテリした唇を
押し開く瞬間が
たまらんなア

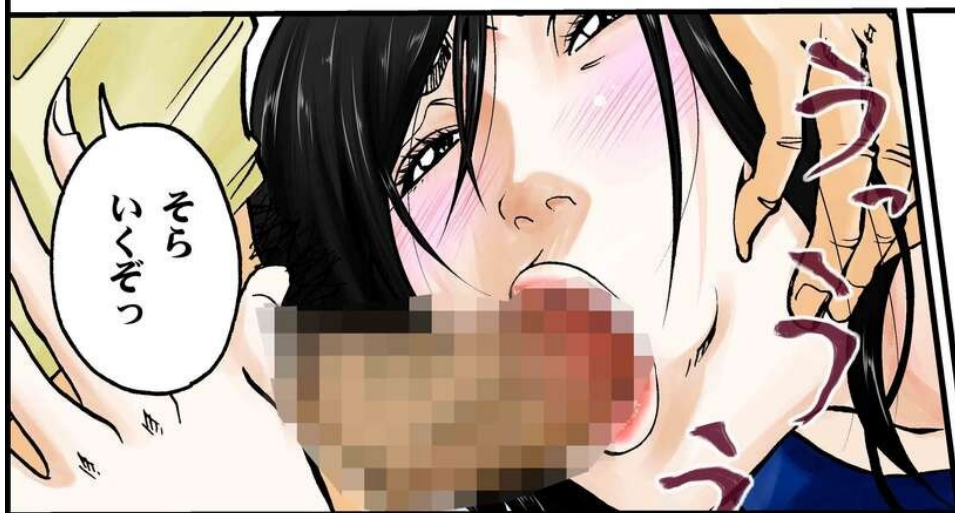


こんな気持ちいい
口マ○コ
初めてじゃ

今晩は期待してますよ
いきなりしゃぶについてやれば
孝一ものしかからずには
いられんよ



おおっ
たまらん さゆみさん
最高じゃよ



そろ
いくぞっ



うっうう
ええじゃろこのまま
飲むくらいは
なっ なっ さゆみさん

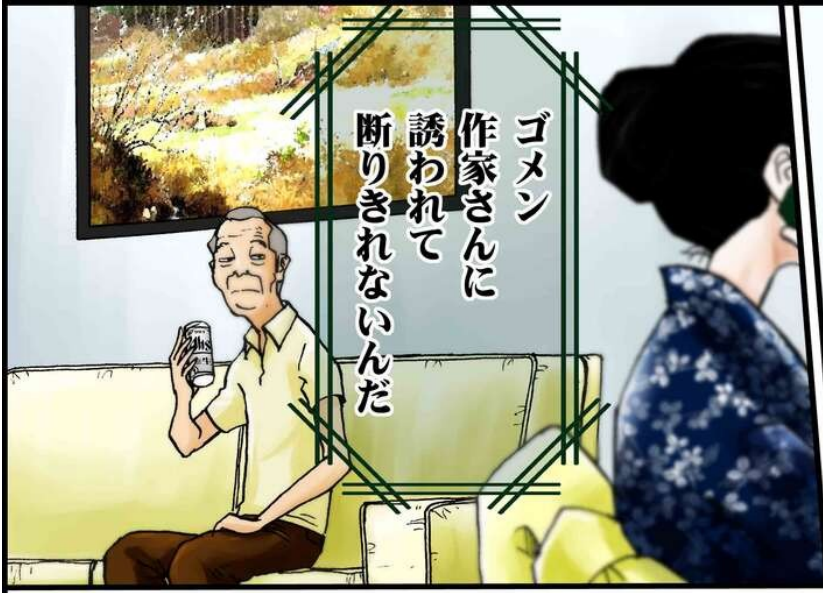
ジュポ

ジュポ

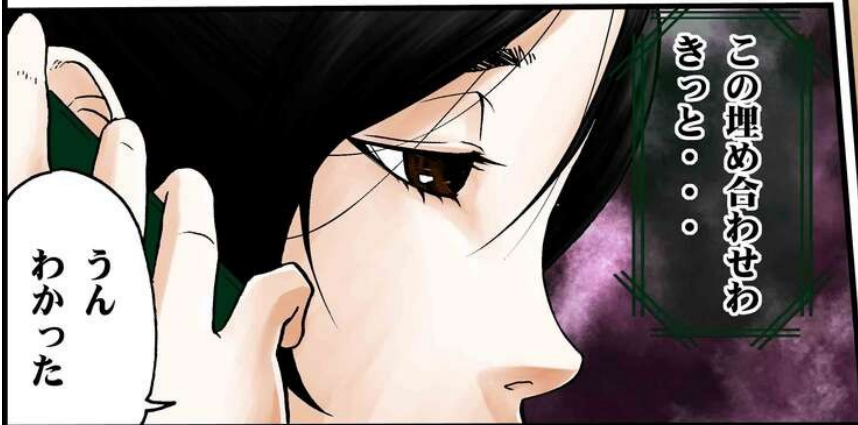


この時
私は女として
初めて男性の
精液を嚥下した

夫のものでなく義父の・・・

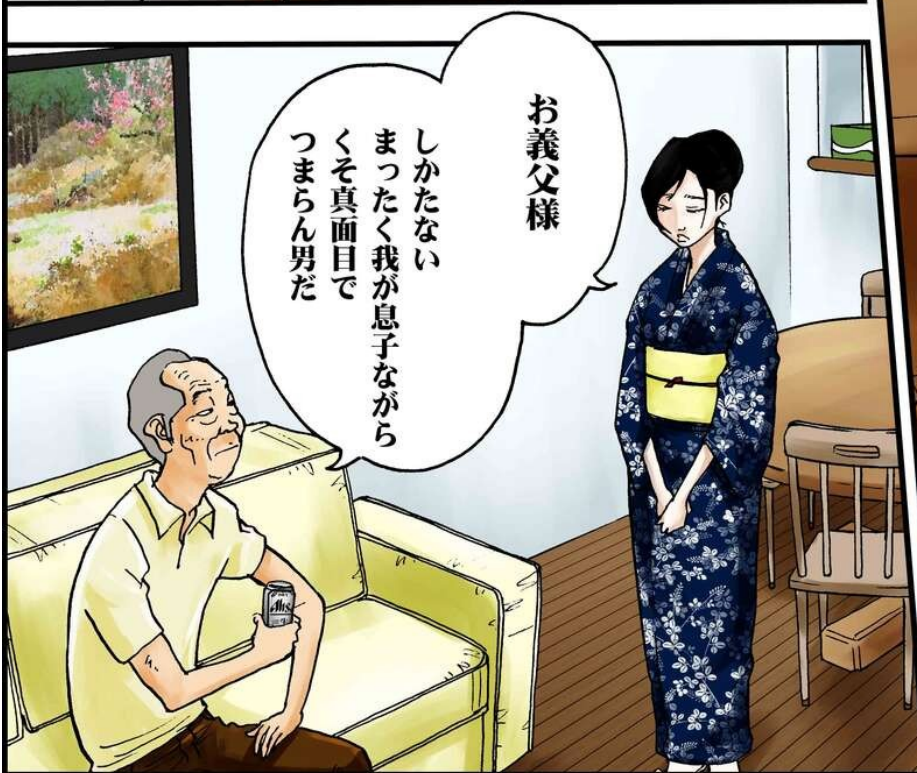


ゴメン
作家さんに
誘われて
断りきれないんだ



この埋め合わせ
きつと。。。

うん
わかった



お義父様

しかたない
まったく我が息子ながら
くそ真面目で
つまらん男だ



よしっ

カニ



えっ
ウソでしょ

ずっと前からの
約束だったじゃない





意外な言葉だった
最初は怖かったけど
この義父は義父なりに
義母を思っていることなんだと
思うと...





鼓動がはやくなってる
これは花火のせい……だけ？

私……どうして
手を握り返して
しまったんだろう

イヤッ
やめてください
こんな事

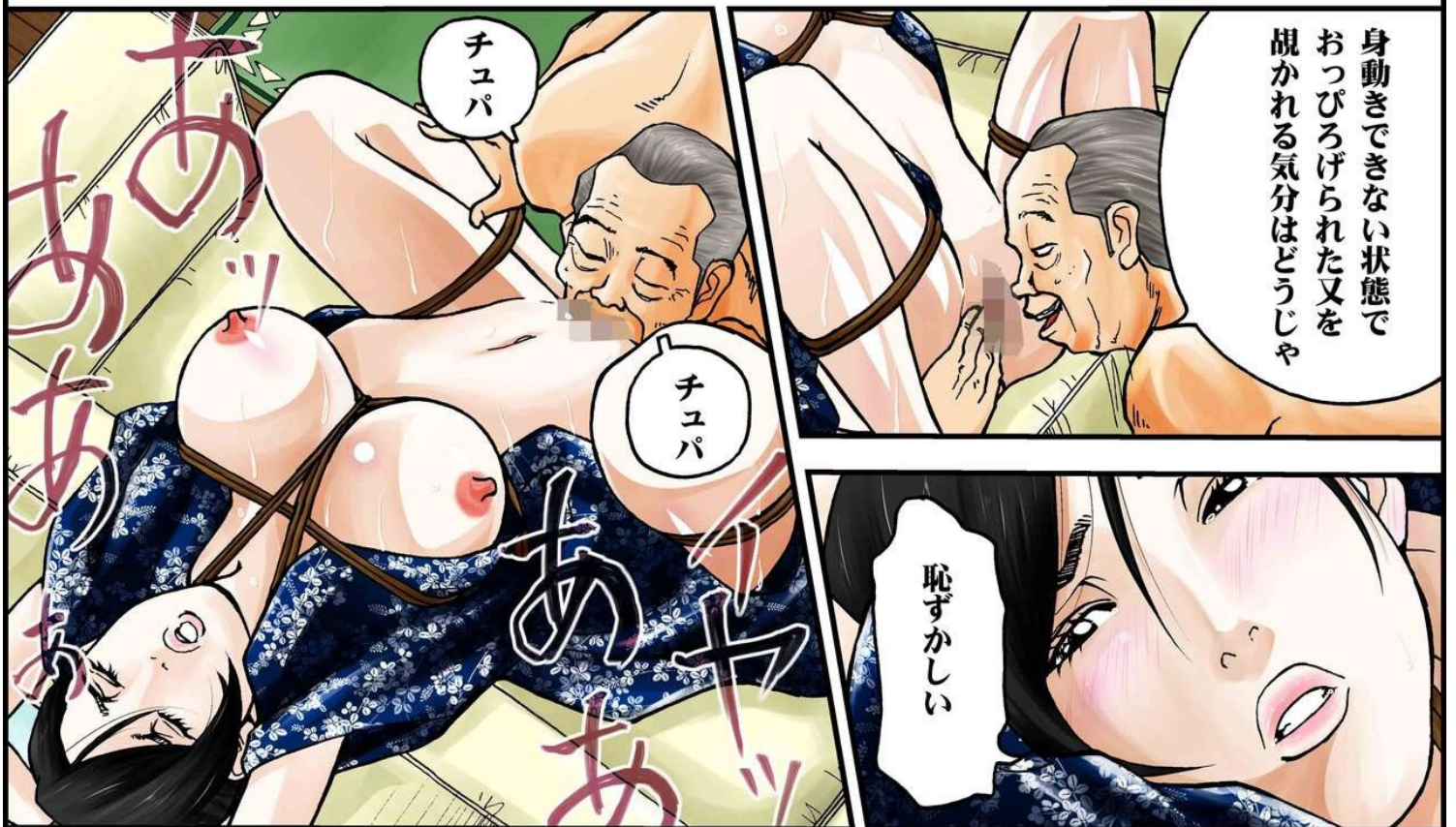
ほら
動くな
黙って言う通りに
しなさい

ほうれ
いい眺めじゃ さゆみさん
白い肌に食い込んだ縄
張り詰めた乳房
孝一が見たら
喰らいつくぞ



さゆみさん
夫婦といえども
必ず飽きがくるもん

そんな中に刺激を
あたえてやっることが
長続きの秘訣じゃ

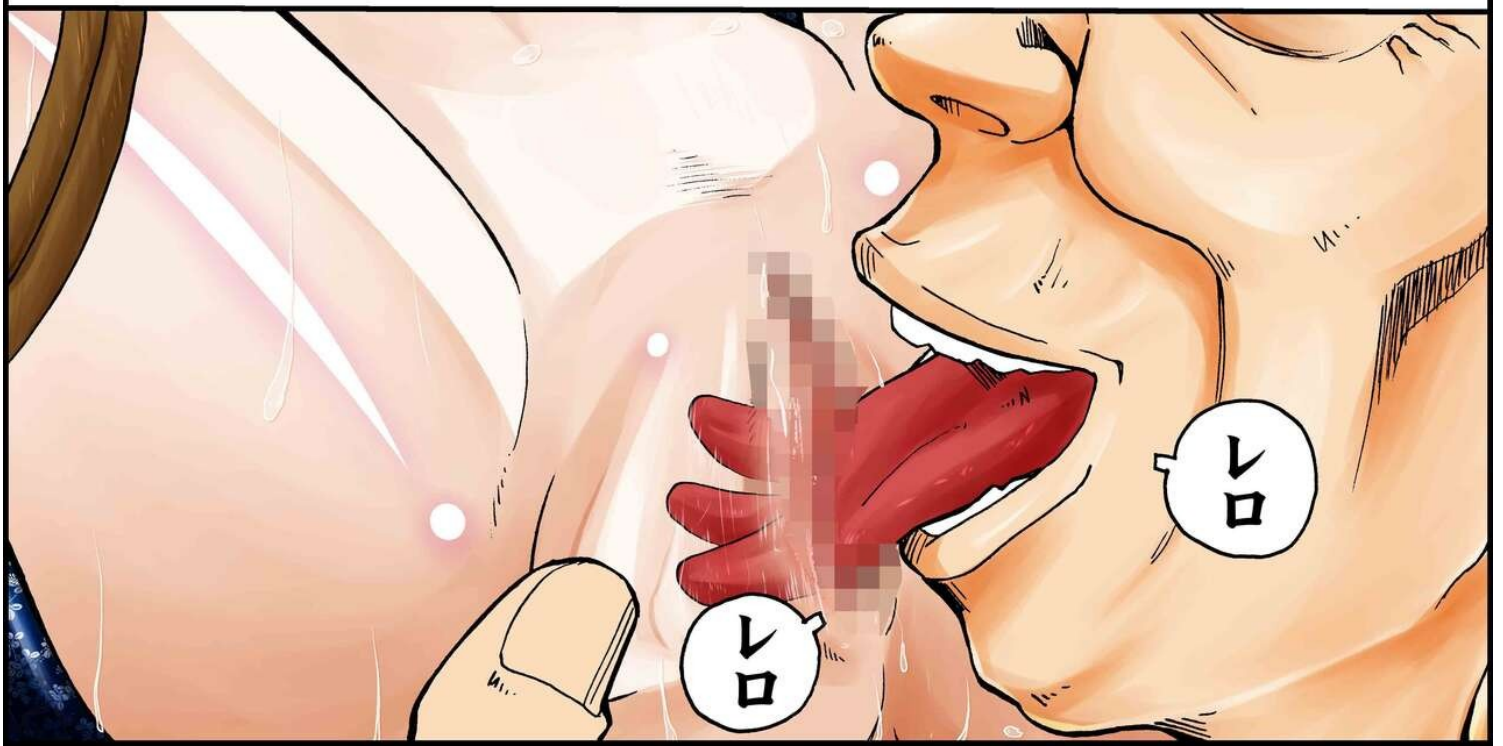


身動きできない状態で
おっぴろげられた又を
覗かれる気分はどうじゃ

チュパ

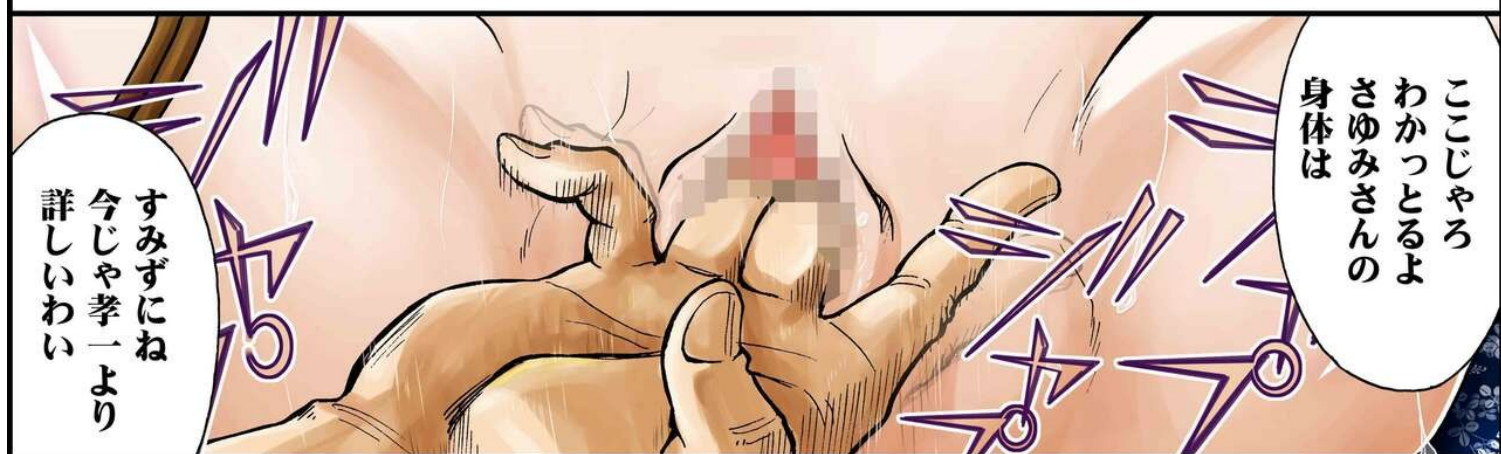
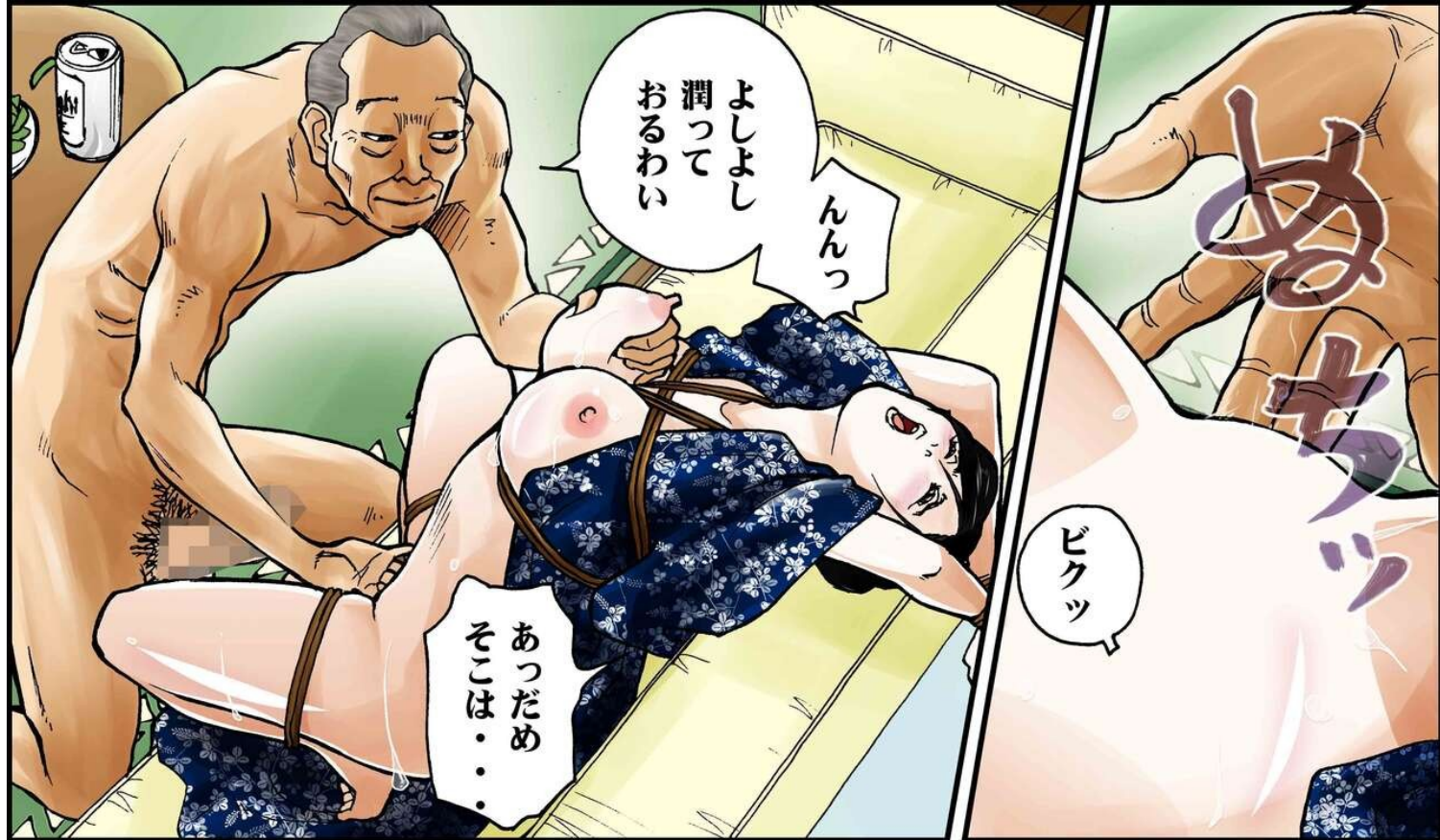
チュパ

恥ずかしい



レロ

レロ







さゆみさんは
小柄であつかいやすくて
いいわい

こっこんなの

どうだね
ワシの肉棒の乗り心地は



んんんっ
マ○コのヒダが吸盤のように
吸い付いて何とも言えん

ずるい
お義父様

何がズルイ
言ってみなさい



熱い・・・大きい・・・
男の人のモノを
こんな風に感じた事
今までなかった



ヌチャ

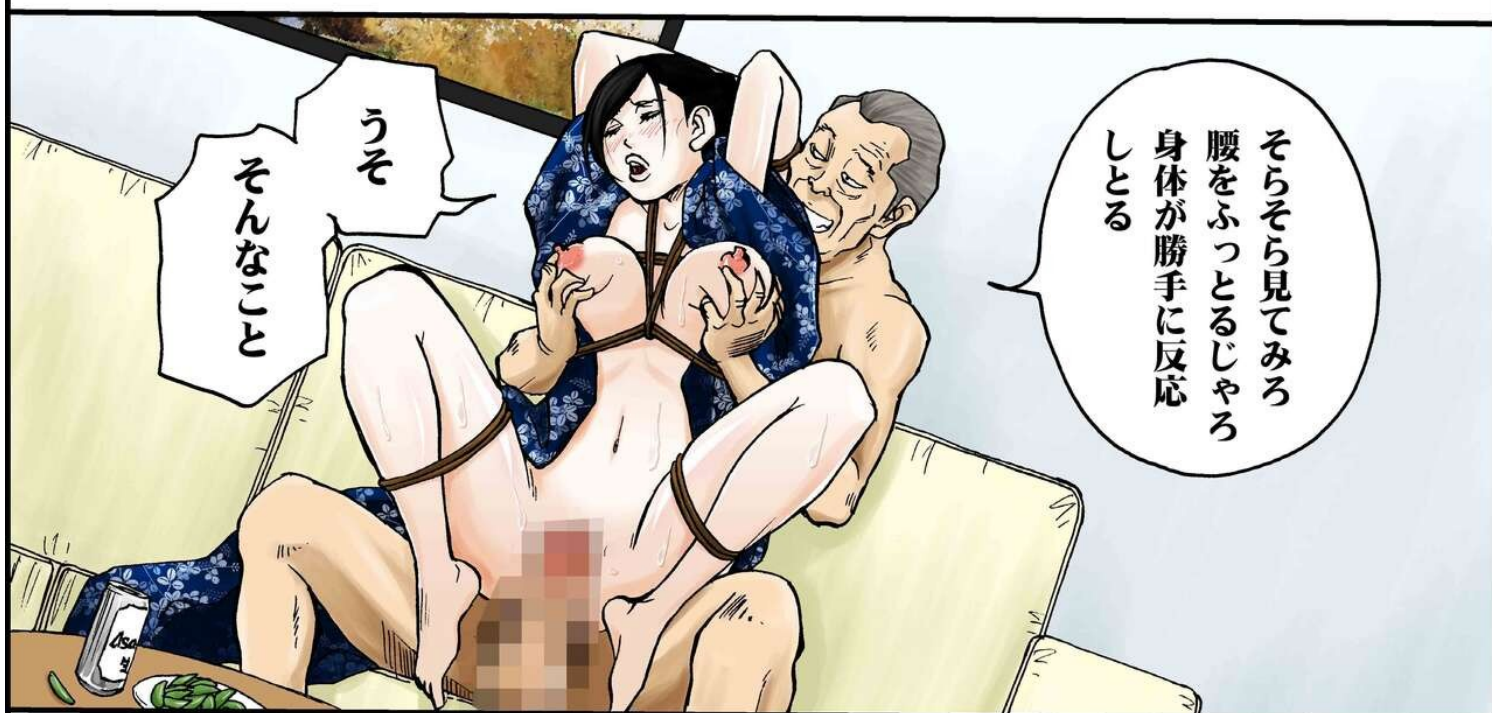


いやっ
動かさないで



ワシじゃないぞ
さゆみさん
あんただろうが

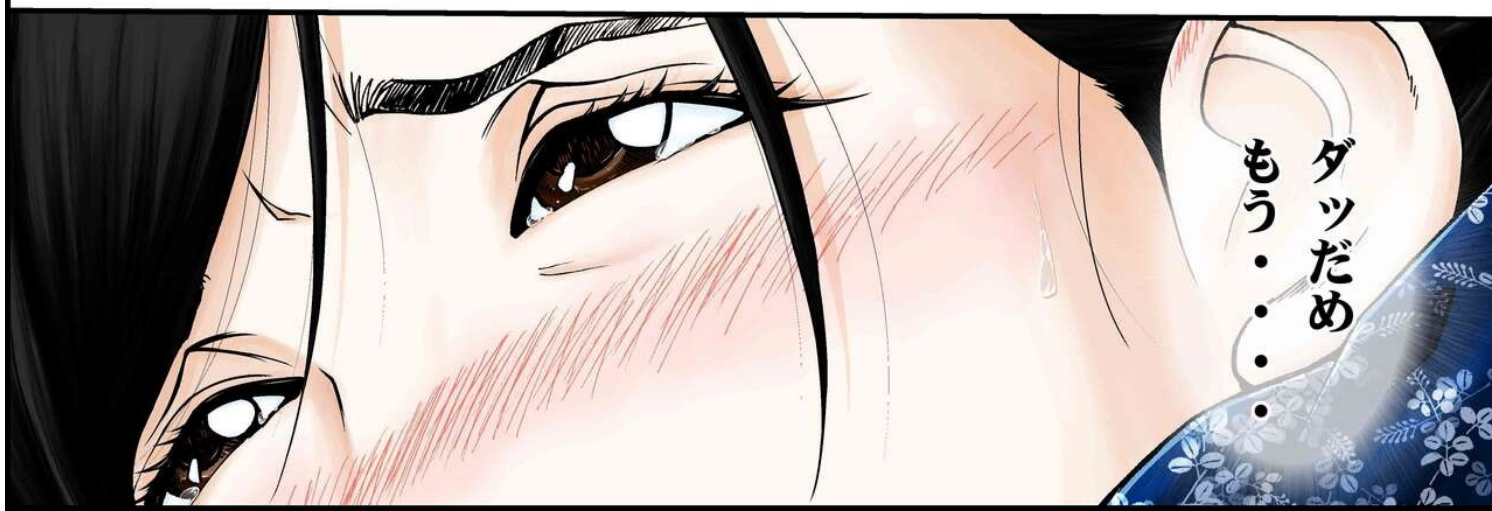
ちっ
違います



そろそろ見てみる
腰をふつとるじゃろ
身体が勝手に反応
しとる

うそ

そんなこと

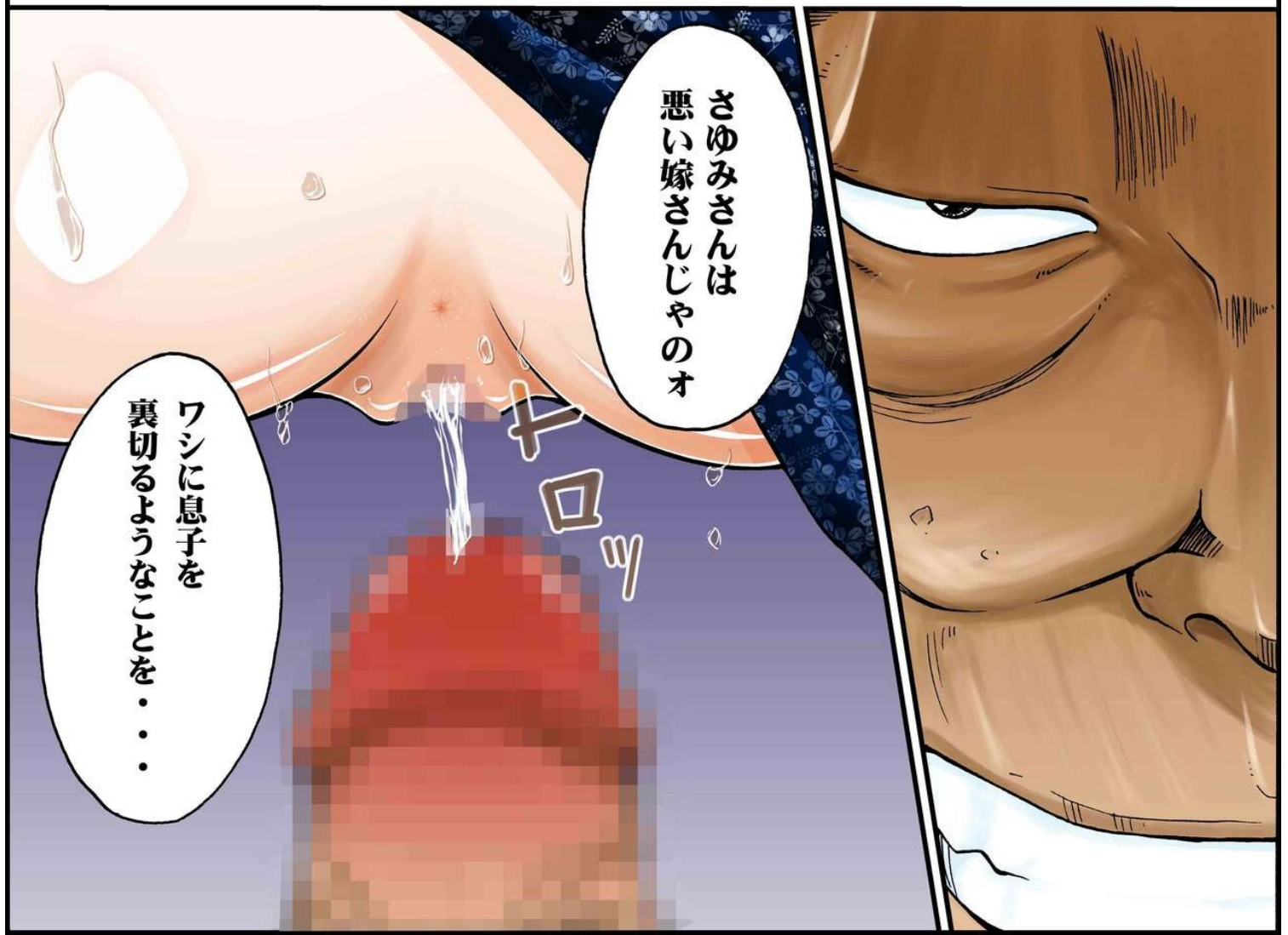


ダッだめ
もう・・・



してください
お義父様のモノで

これ以上
意地悪しないでーっ



さゆみさんは
悪い嫁さんじゃのオ

ワシに息子を
裏切るようなことを・・・

ドロッ



なっ 何この圧迫感
孝一さんとは全然違う
まだなの さらに奥に
熱く太いものが
内臓を押し上げてくる...

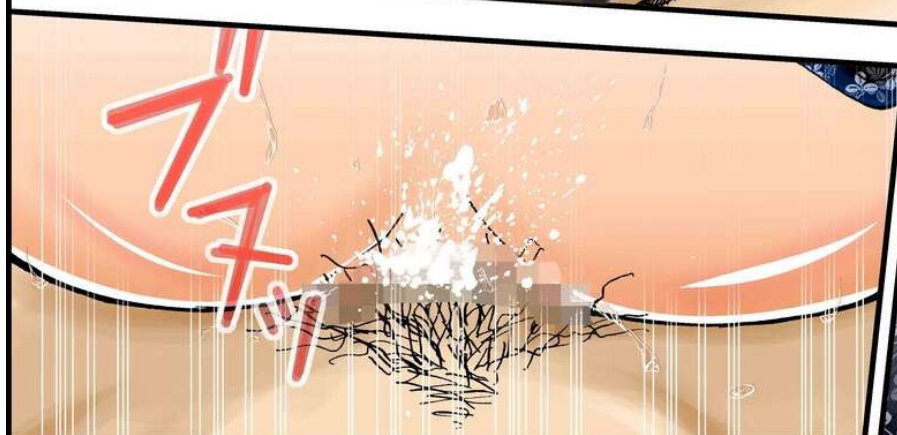


ほーれ
しつかり根元まで
くわえ込んだぞ

どうだ
ワシの一物の味は



ヌチッ



孝一さん
ゴメンネッ
ゴメンナサイ・・・

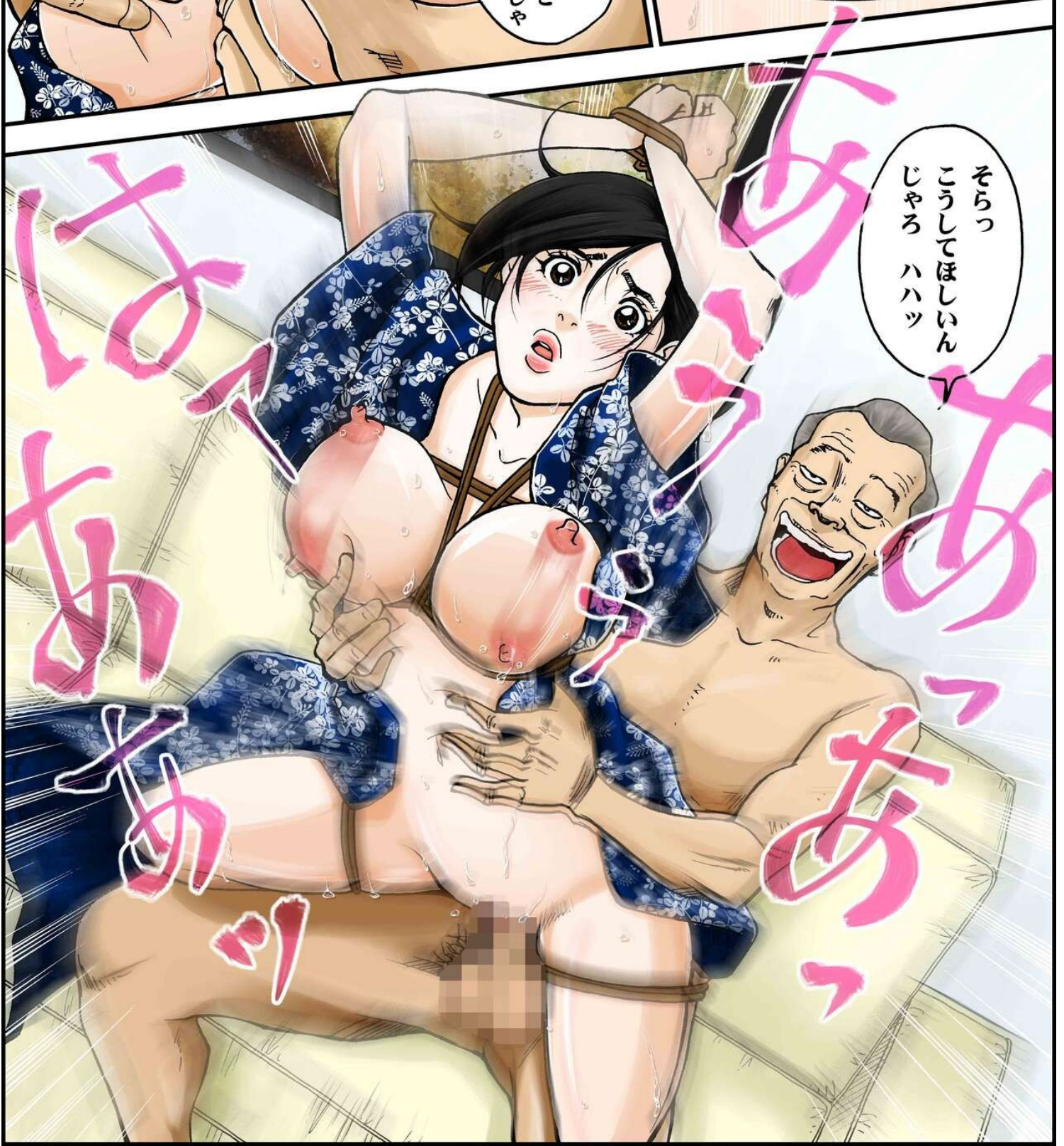


あつあつ無理です
動かさない・・・で

何いっとる
身体はもつともつと
突いてくれと正直じゃ

乳首も
今まで以上に
コリコリと
身体は待っておるわい

そらっ
こうしてほしいん
じゃろ ハハッ





はうつく



おっお義父様



なんじゃ
こんなことで
まだ 入り口...

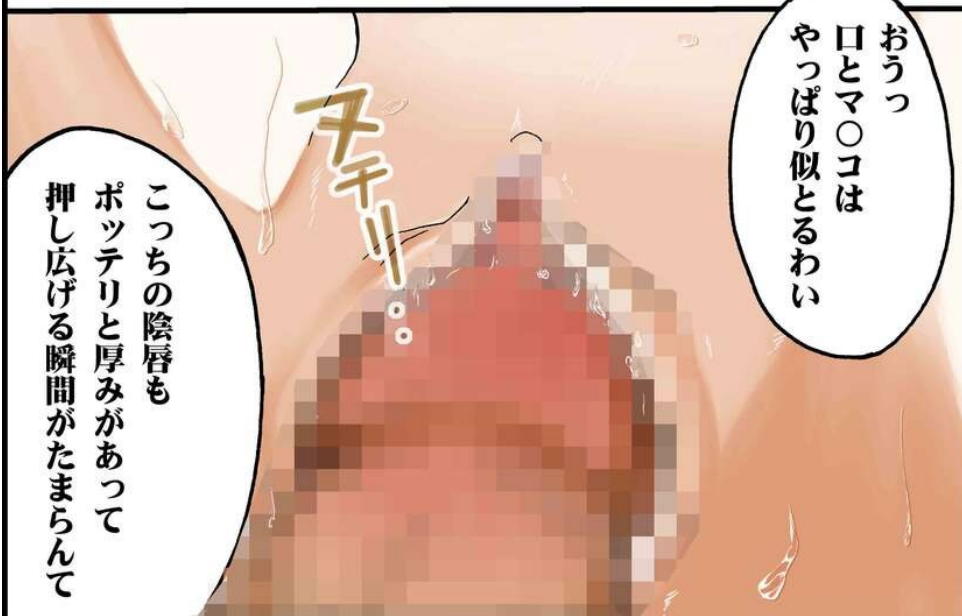
ハア

ハア

これじゃ
ワシがはてるまで
もたんじやないか



こうなっちまった
からには
さゆみさんの身体
味わい尽くさせて
もらわにやの



おうっ
口とマ〇コは
やっぱり似とるわい

フチリ...

こっちの陰唇も
ポツテリと厚みがあつて
押し広げる瞬間がたまらなくて



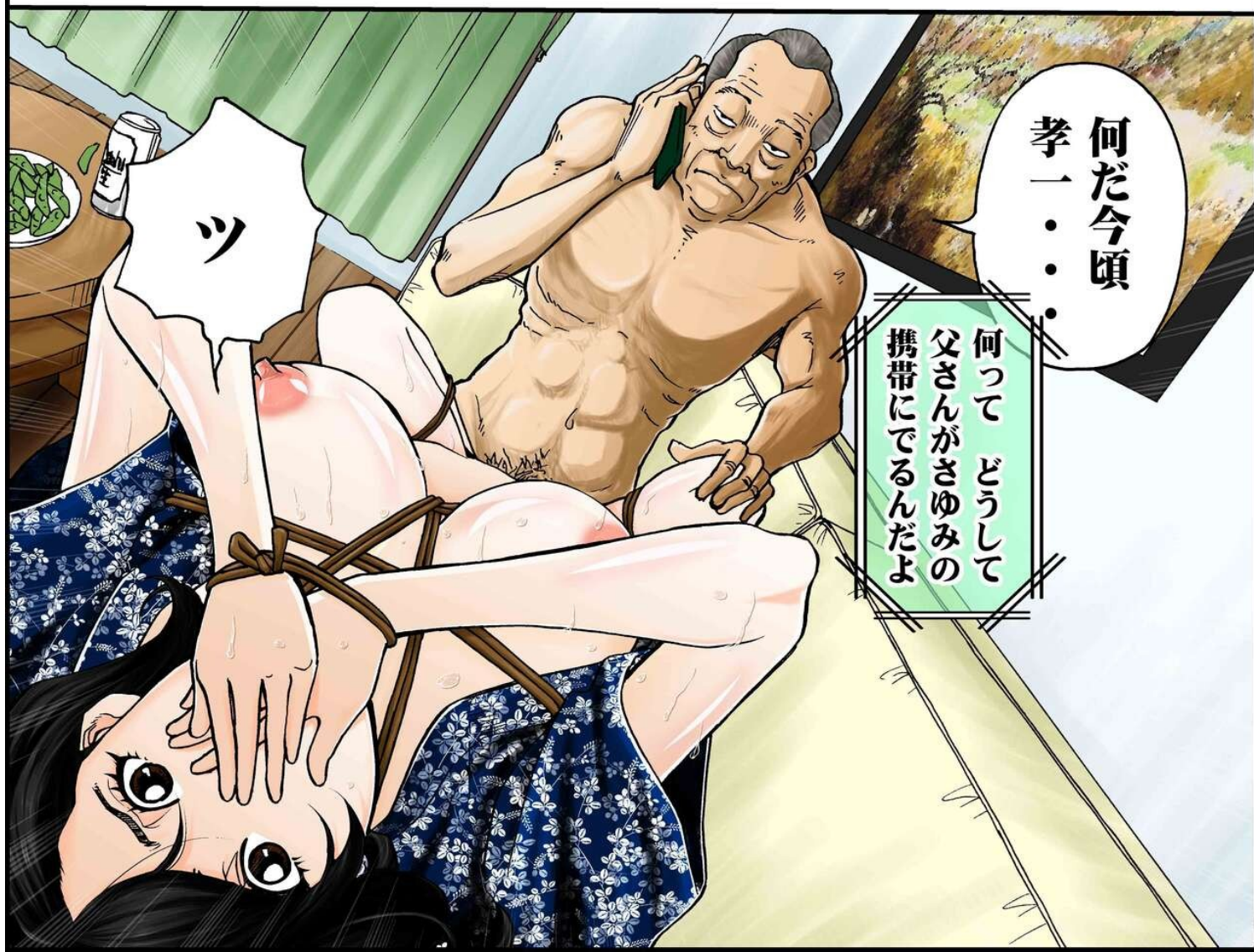
あぁ
あぁ



だめっ
このままじゃ私……

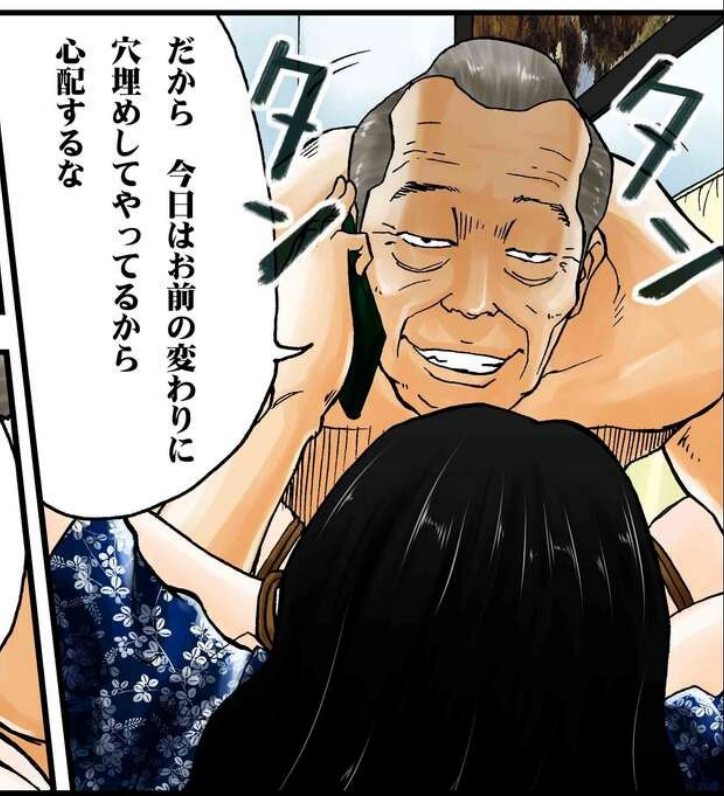
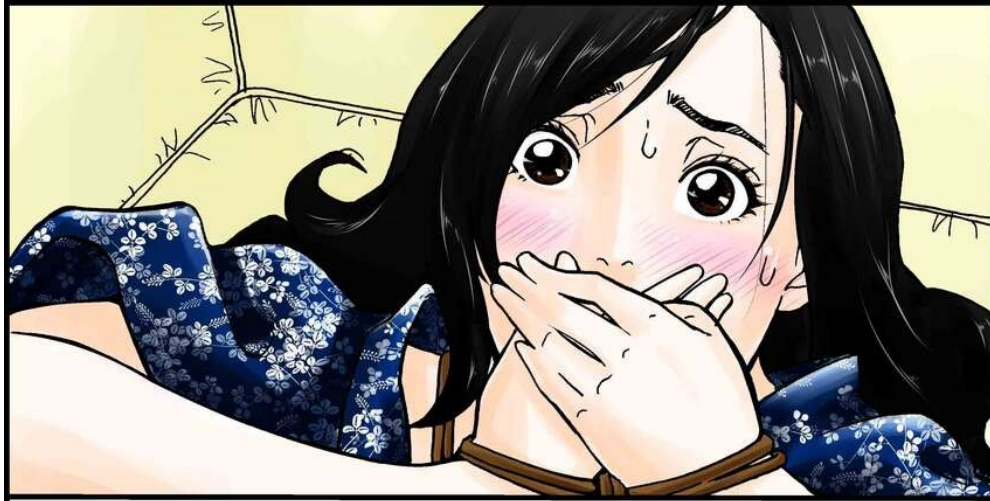


着信中
孝一さん



何だ今頃
孝一……

何って どうして
父さんがさゆみの
携帯にでるんだよ





ヌチ



ほら
今まで我慢しとった事
言ってやりなさい



孝一くっ

さゆみ?



そらっ
妻をほったらかしに
しとったらどうなるか
言ってやれ

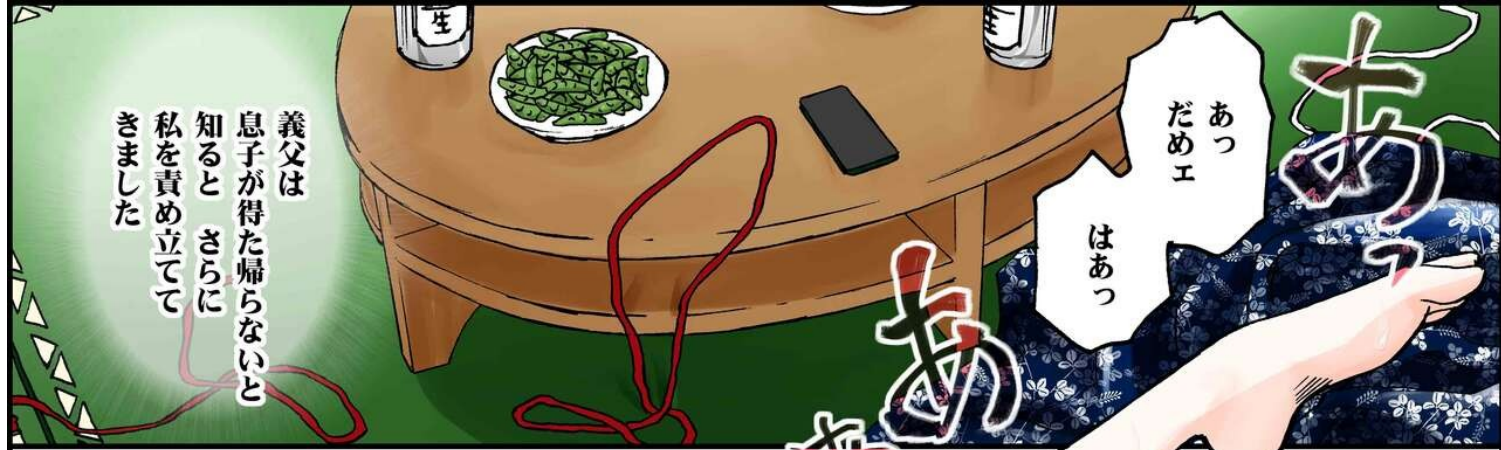
ちっ
違うの...
違っ あんっああ

約束守れなくて
ゴメン...
それに今日帰れそうに
なくて...

うっ
ああっ...

どうしたの
もしかして
泣いてる?

うん
わかった



あつ
だめエ

はあつ

義父は
息子が得た帰らないと
知ると さらに
私を責め立てて
きました



そろそろ
見てみなさい
ワシの肉棒がさゆみさんの
またぐらに刺さっとるのを

やめて
くださいっ



ここまで
しちまつといて
諦めの悪い嫁さん
じゃのお

こりや
一発出さないと
覚悟がきまらんのだな



だつだめっ
お義父さま
それだけは
膣中には出さないで
ください



拒まれると
たまらんなア

おっお願い
やめて〜

お義父さま

そらっいくぞ
受け取れ〜



ほっ本当に・・・



おおっ
たっぷり出して
マンコの中が
さらに
ぬめっとるわい

ひびく



何言つとる
身体は喜んどる
じゃないか



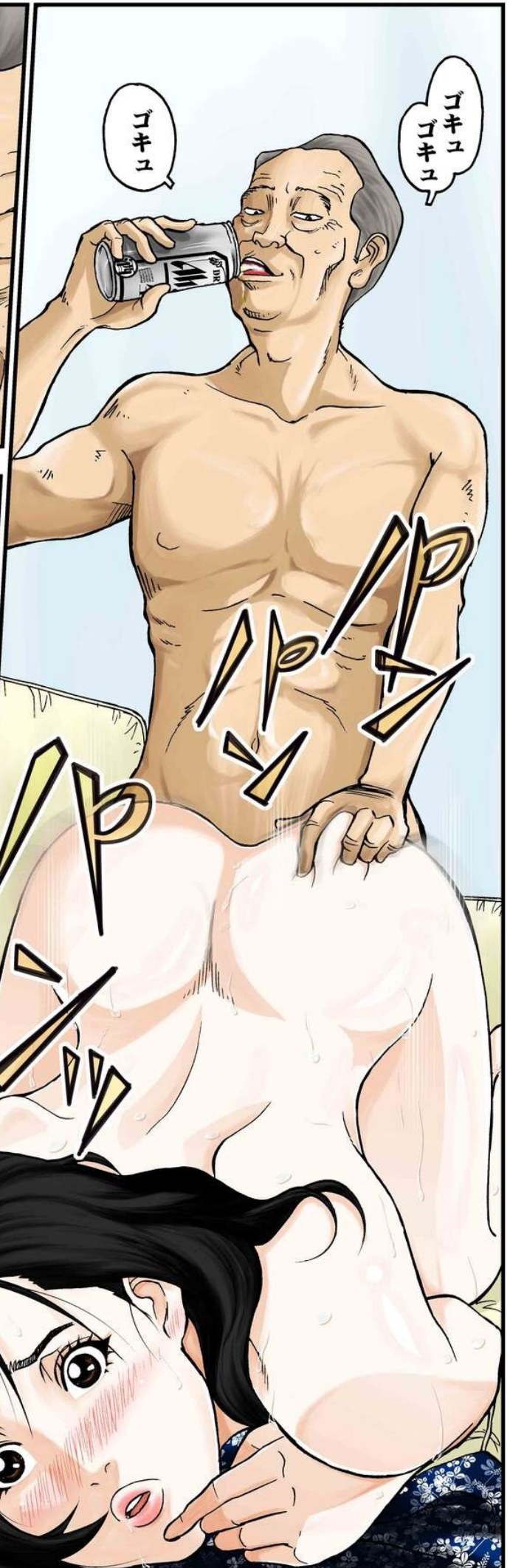
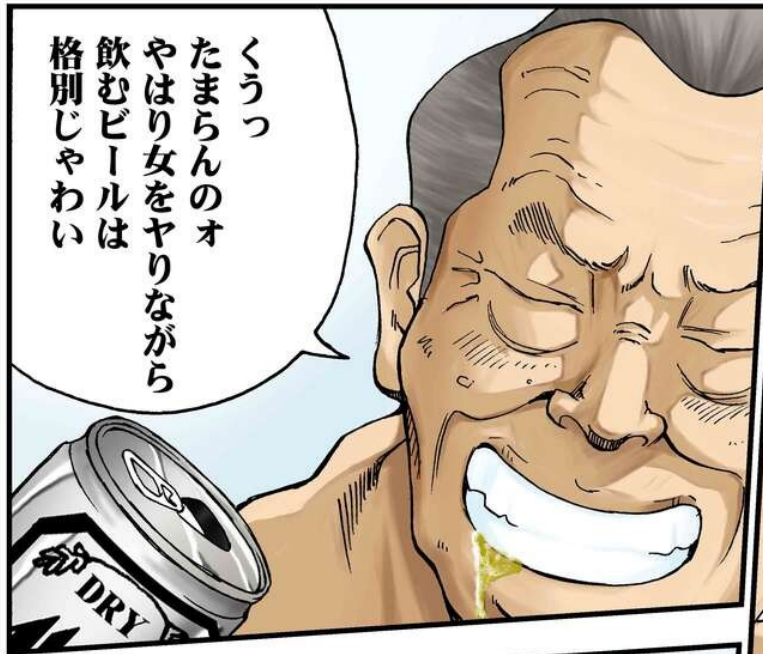
そら 今日祭りじゃ
こんなもんで
終われんぞ ほれ
尻を上げろ

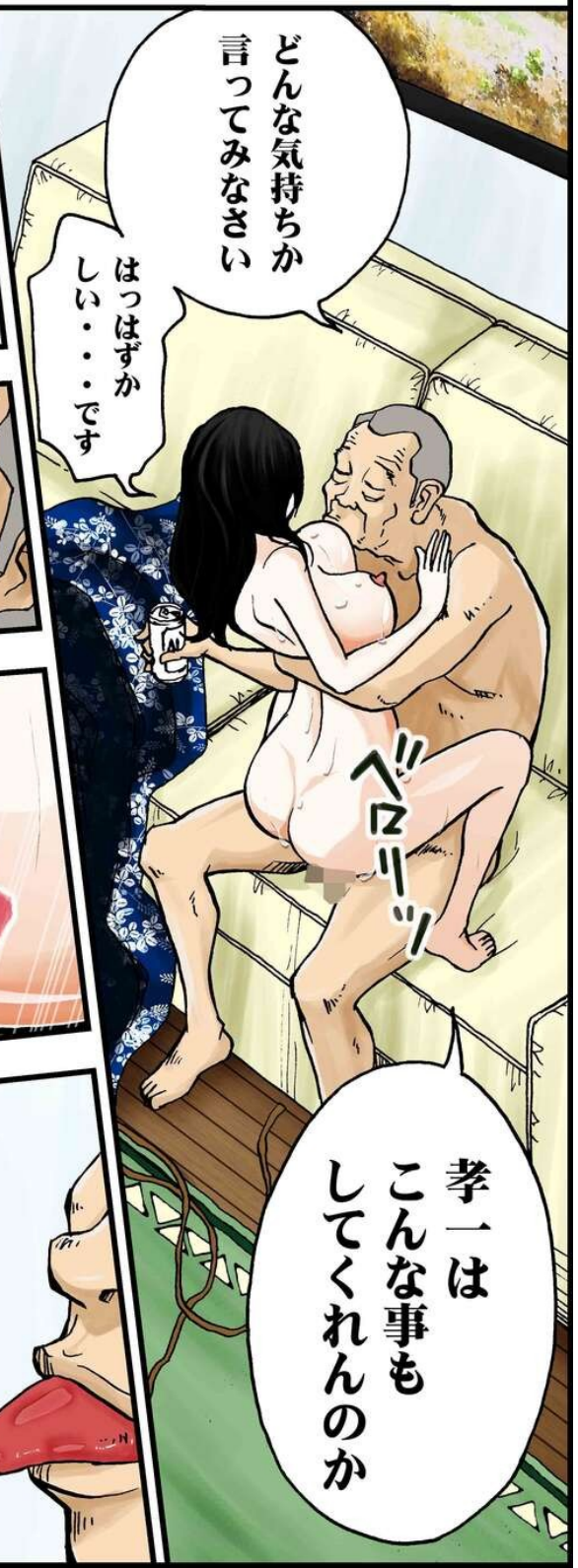
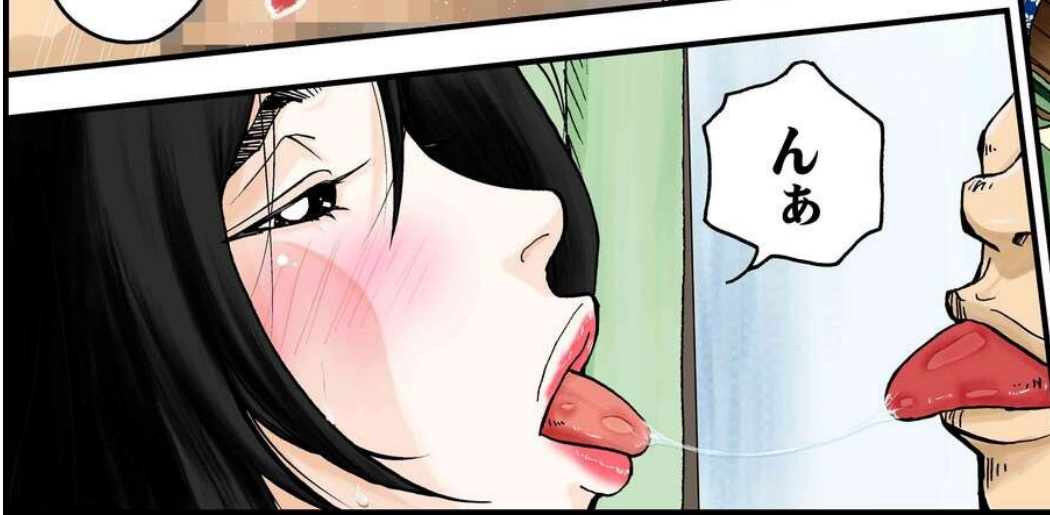
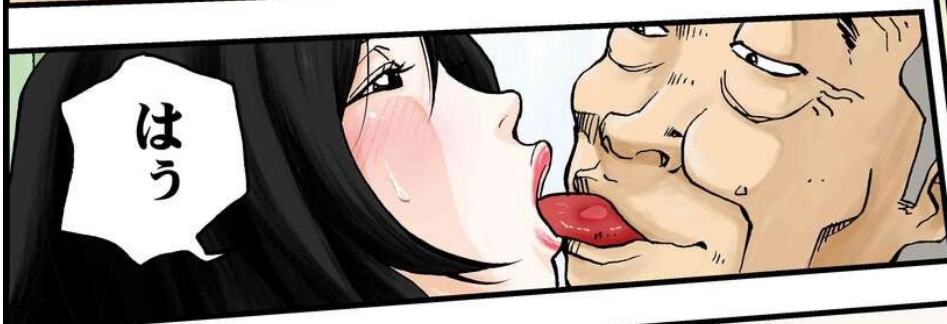
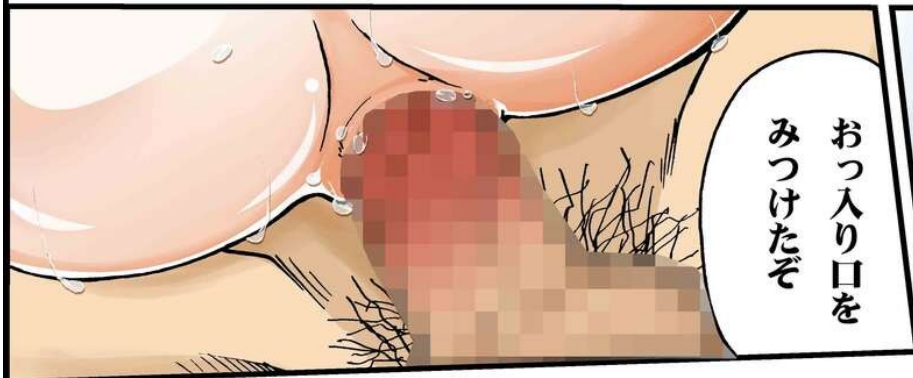
クチュ



クチュ

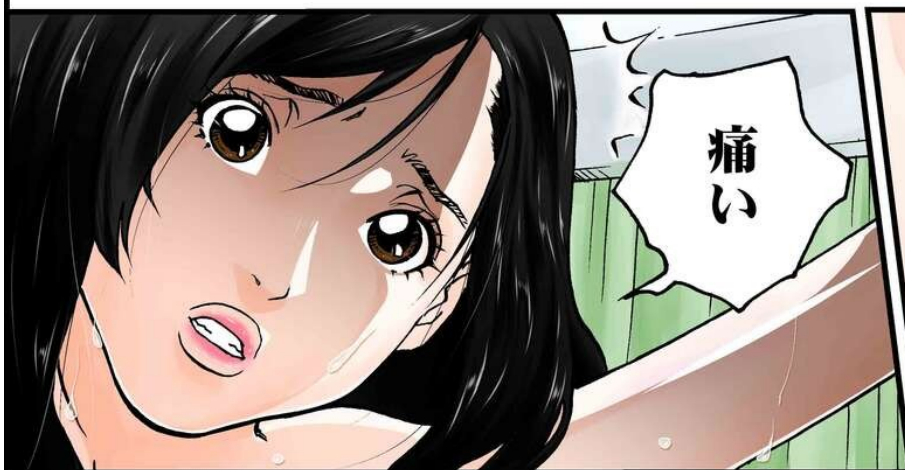
クチュ

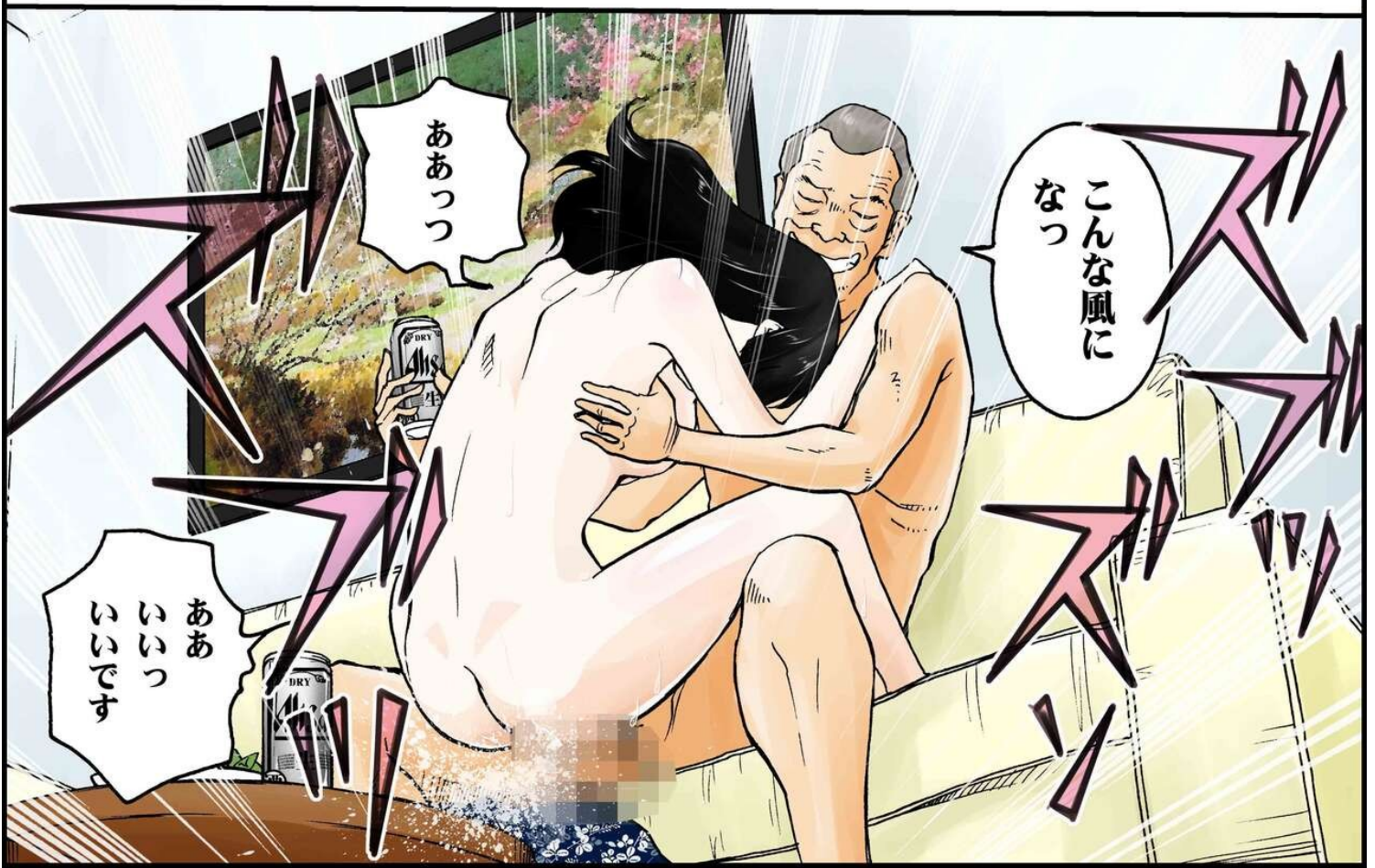
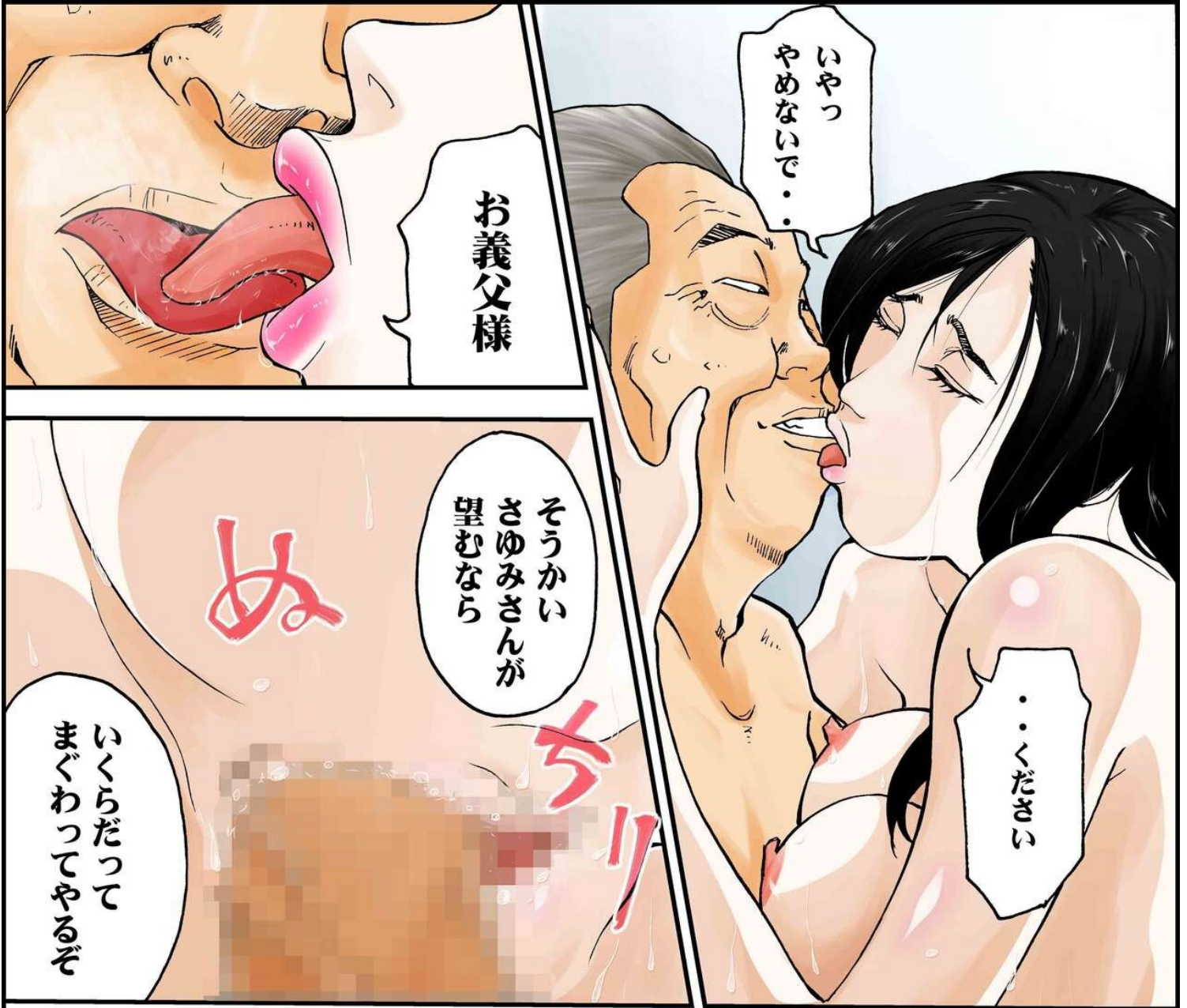




なっなんで
拒めないの
孝一くんを裏切っているのに

身体が
私の言うことを
聞いてくれなっ





あゝあゝ
ダメっ
言っちゃ絶対にダメ
お義父様ア

あゝあゝ
ダメっ
言っちゃ絶対にダメ
お義父様ア

よしよし
そら二発目じゃ
受け取れ

あつあつ
いいです はやく

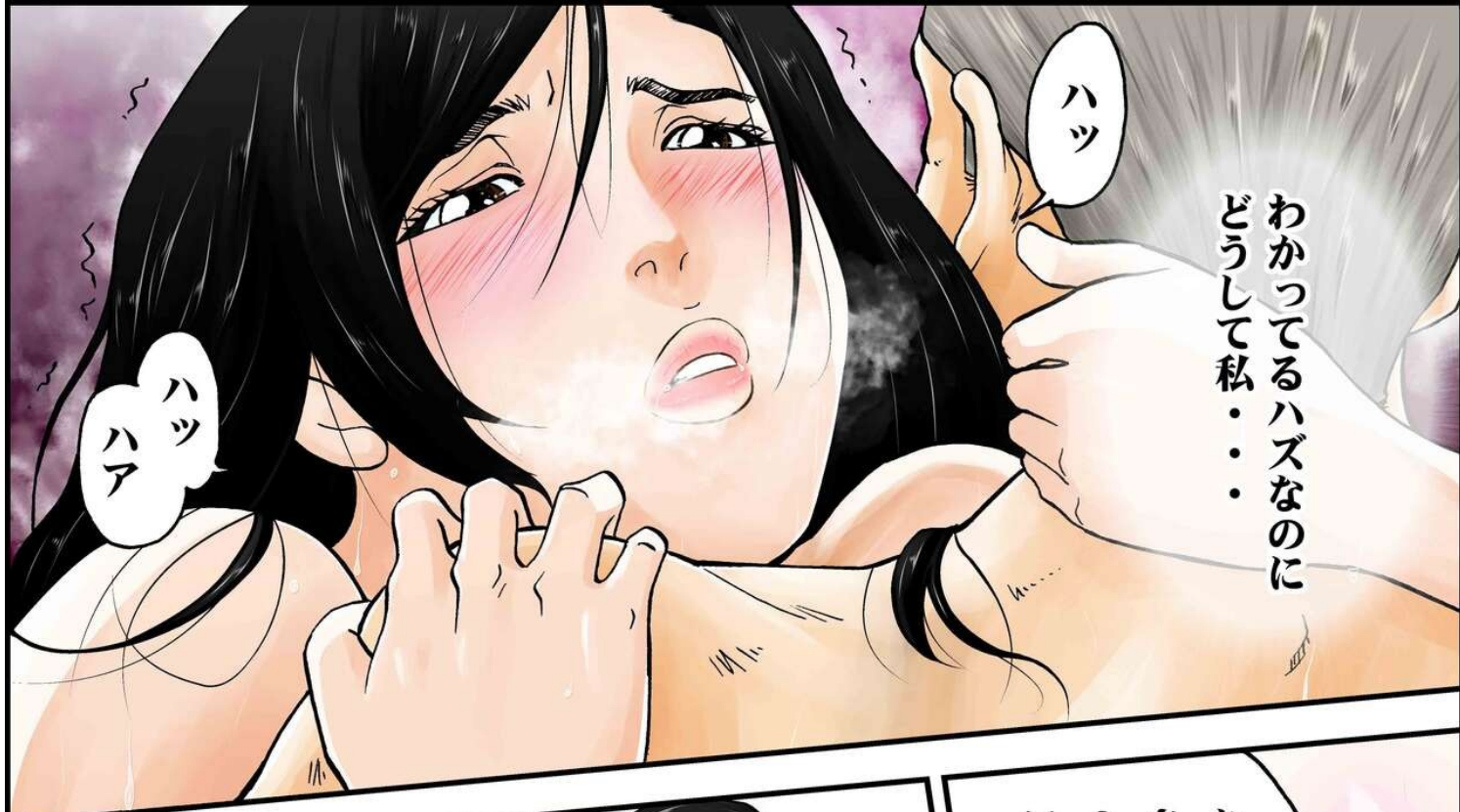
よしよし
そら二発目じゃ
受け取れ

あつあつ
いいです はやく

夫の義父に犯される
私は気づいていたんじゃないだろうか
エスカレートしていった行為
あの 花火を見ていた時
手をつなぎ返した瞬間に・・・

義母の癌もウソにちがいない
最初から息子の妻の身体を
狙っていたのだ
でなければ こんな関係に
満足げに笑をうかべるはずがない・・・





わかってるハズなのに
どうして私・・・

ハッ

ハッ
ハア



いやっ

んっ
どうなる
見てみたいの
これ以上の
さゆみさんを

おおっ凄いぞ
さゆみさんのマンコは
2度だしても
ワシのチンポが

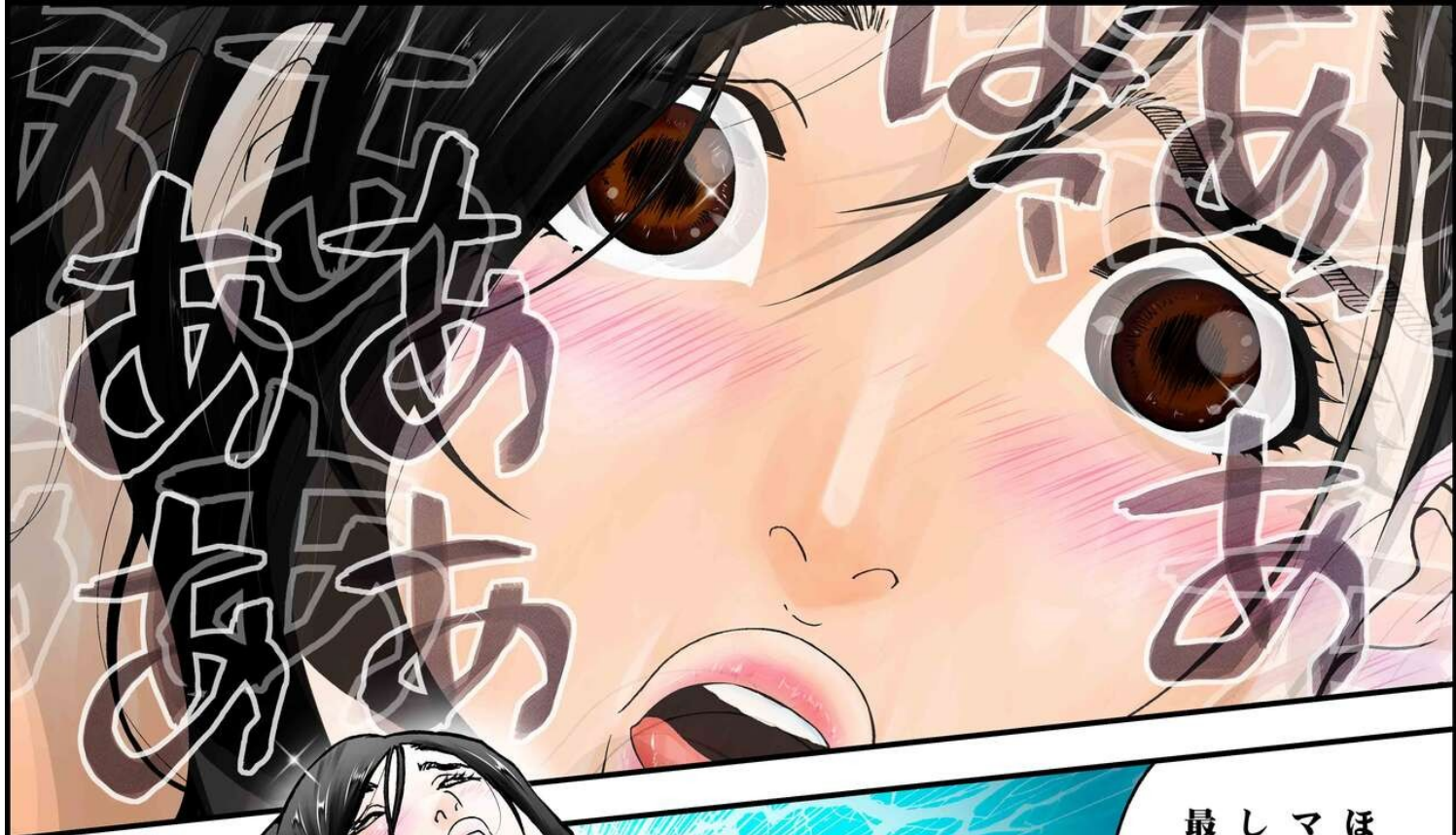


そら そら
見せてみんか
どうじゃ

いやっ

お義父さま
動かさないで
本当にわた・・・し

衰えんとは
はじめてじゃ



ほおおおっ
マ○コがキュウキュウ
しまつとる
最高じゃぞ

ピク

ピクッ

義父は始めから楽しんでいた
自分からではなく
私の口からすべてを
言わせるように仕向けて

そう
私はこの義父という男によって
身体の間から隅まで開発され
快樂という畏に落とされたのだ
.....





私が開放されたのは
5度目の精子を身体に
流し込まれた後だったと思う



気を失ったように眠った私を
起こしたのは お昼すぎ

義父が6度目の
精子を私に流し込む
直前でした・・・



この日・・・
結局 孝一さんは
夜10時すぎ
私が好きなエクレーを
買って帰ってきた

ゴメンツ

バカ

そして
罪滅ぼしのためだろう
・・・

久しぶりに
求めてきた

いつもと変わらない
優しいタッチの
セックス・・・

あっ
あっ
あ

孝一さんは
このままで
いいのだと思う

今のままで
・・・ただ

私の身体は
お義父さまなしでは
いられなくなってしまうている



1年後・・・

今日はパパと
お散歩でちゆか

今 田舎からおやじが
来てるんです
足の悪いおふくろを
おいて・・・

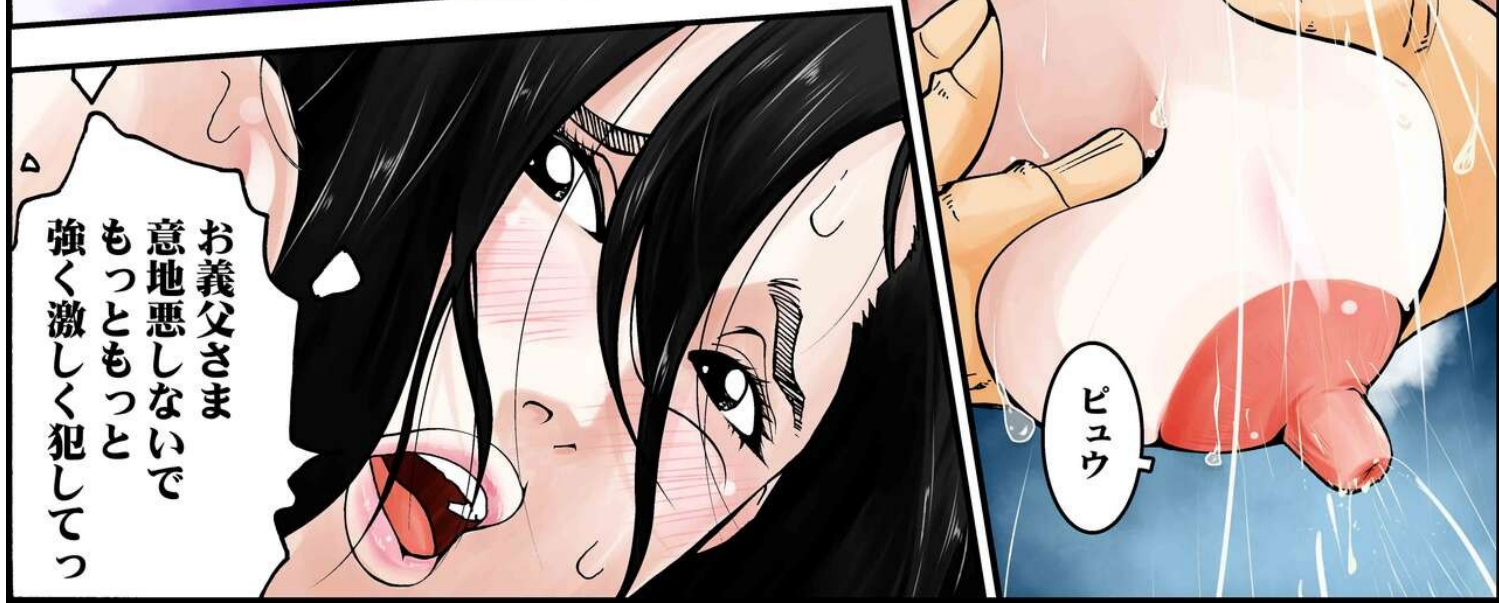
それで妻が
昼真っからビールに
つき合わされて

まあ
悪いおじいちゃん
孫よりお嫁さんを
かわいがるなんて

まったくです
母がいらないのを
いい事にハメを
はずしてるんですよ

スープ

ヌップ



たっぷりとワシの
濃い子種を受け取れっ
しっかりと孕むんじゃぞ
さゆみさん

はい うれしい
お義父さま……

やはり
あれから義母が
癌などという話は
聞いたことはありません

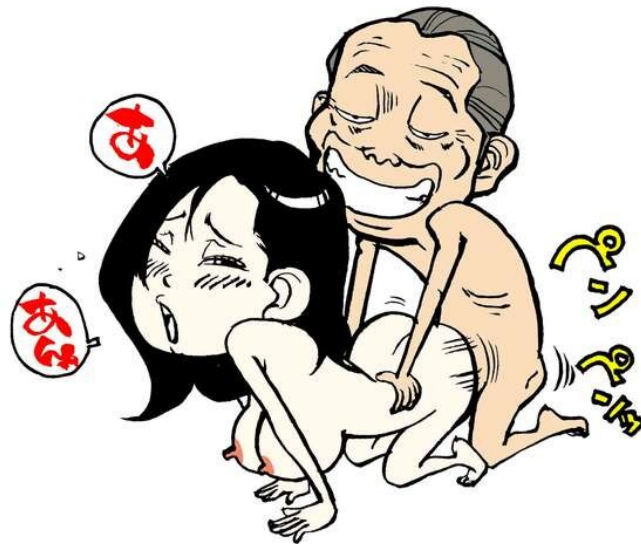
それでも私は今
優しい夫と
義父に愛されて
とてもしあわせです。

END

あとがき

このたびは作品を購入いただき
誠にありがとうございました
新参者ではありますが
読者さんの股間の友になれるよう
精進まいります
つたない面がありましたらぜひ
ご意見いただけたら嬉しく思います

みなさんのお買い上げ一つ一つに心震わせる
八百万★社中でございました。



Twitter



DMM (FANZA)

八百万★社中販売サイト



アンケート